

令和 6 年 度

事業概要

人間を救うのは、人間だ。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

秋田県支部

日本赤十字社 ミッションステートメント

(Mission statement)

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、
人道の実現のために、
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、
人の痛みや苦しみに目を向け、
常に想像力をもって行動します。

この事業概要は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの業務などについて収録した。

目 次

1. 役員等	1
2. 評議員会・監査	3
3. 地区・分区関係	4
4. 活動資金の収納状況	6
5. 国際活動	9
6. 災害救護事業等	11
7. 救急法・健康生活支援講習等の普及	24
8. 赤十字奉仕団等	39
9. 青少年赤十字（J R C）	65
10. 広報・普及活動	70
資料 令和6年度秋田県支部歳入歳出決算概要	72
11. 医療事業	73
12. 血液事業	78
13. 乳児院の運営	84
資料 令和6年度秋田赤十字乳児院歳入歳出決算概要	86
14. 日本赤十字社秋田県支部現勢	87

1 役 員 等

(令和7年3月31日現在)

1. 支部役員・本社理事並びに代議員

役 職 名	氏 名
支 部 長	佐 竹 敬 久
副 支 部 長	神 部 秀 行
	穂 積 志
監 査 委 員	芦 田 晃 輔
	伊 藤 新
理 事	野 口 良 孝
代 議 員	江 畑 佳 明
	堀 井 啓 一
	黒 崎 義 雄
	齊 藤 正 子

2. 評議員

地 区 別	氏 名
鹿 角 市	関 厚
大 館 市	日 景 隆
	佐 藤 かよ子
北 秋 田 市	津 谷 永 光
能 代 市	齊 藤 滋 宣
男 鹿 市	菅 原 広 二
潟 上 市	鈴 木 雄 大
秋 田 市	黒 崎 義 雄
	渡 邊 達 夫
	川 村 豊 太
	石 黒 和 雄
	金 子 真 悟
由 利 本 荘 市	湊 貴 信
	三 浦 徳 久
に か ほ 市	佐 藤 耕 一
大 仙 市	今 野 功 成
	木 村 孝 臣
仙 北 市	田 口 知 明
横 手 市	高 橋 大
	小 野 タヅ子
湯 沢 市	佐 藤 一 夫
北	小 林 悦 次
山 本	佐々木 文 明
中 央	荒 川 滋
南	松 田 知 己
支 部 長 選 出	堀 井 啓 一
	齊 藤 正 子
	江 畑 佳 明
	田 口 昇

3. 赤十字奉仕団秋田県支部委員会

(令和7年3月31日現在)

役職名	氏 名	所属奉仕団	選 出 区 分
委員長	齊 藤 正 子	能代市二ツ井町赤十字奉仕団	地域奉仕団委員長
副委員長	佐 藤 明 子	大館市大館赤十字奉仕団	
	佐 竹 睦 子	秋田市赤十字奉仕団	
	欠		
	八 代 千 春	秋田県赤十字災害救護奉仕団	特殊奉仕団委員長
委 員	嶋 田 陽 子	横手市赤十字奉仕団	地域奉仕団委員長
	吉 田 萬里子	男鹿市赤十字奉仕団	
	北 村 ルミ子	湯沢市赤十字奉仕団	
	戸 澤 久美子	鹿角市赤十字奉仕団	
	鈴 木 とみ子	由利本荘市岩城赤十字奉仕団	
	こだま 祥 子	潟上市赤十字奉仕団	
	松 橋 セツ子	北秋田市森吉赤十字奉仕団	
	村 上 和 美	にかほ市仁賀保赤十字奉仕団	
	赤 川 和 子	仙北市角館町赤十字奉仕団	
	伊 藤 明 美	上小阿仁村赤十字奉仕団	
	近 藤 きぬ子	三種町山本赤十字奉仕団	
	湊 文 子	井川町赤十字奉仕団	
	森 元 博 美	美郷町赤十字奉仕団	
	吉 田 圭 子	秋田県点訳赤十字奉仕団	特殊奉仕団委員長
	中 村 久 夫	秋田県赤十字芸能奉仕団	
	石 川 和 男	秋田県アマチュア無線赤十字奉仕団	
	三 森 幹 男	秋田県赤十字水上安全法奉仕団	
	田 口 昇	秋田県赤十字救急法奉仕団	
	羽 川 誠	秋田県青少年赤十字賛助奉仕団	
	三 浦 泰 輔	秋田県青年赤十字奉仕団	県青年奉仕団連絡協議会

2 評議員会・監査

1. 評議員会

評議員会を次のとおり実施した。

(1) 第1回目

期 日 6月26日

会 場 ホテルメトロポリタン秋田 3階「グランデ B」

出席評議員 13人

審 議

- ・議案第1号 令和5年度一般会計歳入歳出決算
- ・議案第2号 令和5年度医療施設特別会計歳入歳出決算
- ・議案第3号 令和5年度社会福祉施設特別会計歳入歳出決算監査報告
- ・議案第4号 副支部長・監査委員の選出
- ※議案第1号から議案第3号まで原案どおり承認された。
- ※議案第4号 副支部長の選出については、穂積 志氏が再選され、
監査委員の選出については、芦田 晃輔氏が選出された。

報告事項

「健康生活支援講習の学びを生かした和（のどか）さろんの活動について」

(2) 第2回目

期 日 2月3日

会 場 秋田赤十字病院 2階「多目的ホール」

出席評議員 14人

審 議

- ・議案第1号 代議員の選出について
- ・議案第2号 令和6年度一般会計歳入歳出補正予算
- ・議案第3号 令和6年度社会福祉施設特別会計歳入歳出補正予算
- ・議案第4号 令和7年度事業計画
- ・議案第5号 令和7年度一般会計歳入歳出予算
- ・議案第6号 令和7年度医療施設特別会計歳入歳出予算
- ・議案第7号 令和7年度社会福祉施設特別会計歳入歳出予算
- ※議案第1号 代議員の選出については江畑 佳明氏が再選され、
堀井 啓一氏、黒崎 義雄氏、齊藤 正子氏が選出された。
- ※議案第2号から議案第7号まで原案どおり承認された。

報告事項

- ① 秋田赤十字病院あきた健康管理センターの休止について
- ② 「どこでも安全な水が手に入る社会を目指して～国際活動事業地への出張（ルワンダ）～」

2. 監査

監査委員監査

監査対象施設	期 日	場 所	監 査 者
支 部	5月31日	秋田県社会福祉会館 9階第2会議室	支部監査委員
病 院			
血液センター			
乳 児 院			

3 地区・分区関係

1. 地区・分区の概況

(令和7年3月31日現在)

地区・分区名	地区・分区長名	行政職名等	市町村における赤十字担当課等	
			名 称	電話番号
秋 田 市	穂 積 志	市 長	福祉総務課	018-888-5661
能 代 市	齊 藤 滋 宣	市 長	社会福祉協議会	0185-52-3335
横 手 市	高 橋 大	市 長	社会福祉課	0182-35-2132
大 館 市	石 田 健 佑	市 長	福祉課	0186-42-8100
男 鹿 市	菅 原 広 二	市 長	社会福祉協議会	0185-23-2772
湯 沢 市	佐 藤 一 夫	市 長	福祉課	0183-73-2122
鹿 角 市	関 厚	市 長	社会福祉協議会	0186-23-2165
由利本荘市	湊 貴 信	市 長	福祉支援課	0184-24-6315
潟 上 市	鈴 木 雄 大	市 長	社会福祉課	018-853-5314
大 仙 市	老 松 博 行	市 長	社会福祉課	0187-63-1111
北 秋 田 市	津 谷 永 光	市 長	福祉課	0186-62-6637
に か ほ 市	市 川 雄 次	市 長	社会福祉協議会	0184-43-2543
仙 北 市	田 口 知 明	市 長	社会福祉協議会	0187-54-2493
小 坂 町	細 越 満	町 長	福祉課	0186-29-3925
上小阿仁村	小 林 悦 次	村 長	社会福祉協議会	0186-77-3057
藤 里 町	佐々木 文 明	町 長	社会福祉協議会	0185-79-2848
三 種 町	田 川 政 幸	町 長	福祉課	0185-85-2190
八 峰 町	堀 内 満 也	町 長	福祉保健課	0185-76-4608
五 城 目 町	荒 川 滋	町 長	社会福祉協議会	018-852-5192
八 郎 潟 町	畠 山 菊 夫	町 長	社会福祉協議会	018-875-3871
井 川 町	齋 藤 多 聞	町 長	社会福祉協議会	018-874-2611
大 潟 村	高 橋 浩 人	村 長	社会福祉協議会	0185-45-2840
美 郷 町	松 田 知 己	町 長	福祉保健課	0187-84-4907
羽 後 町	安 藤 豊	町 長	社会福祉協議会	0183-62-5313
東 成 瀬 村	備 前 博 和	村 長	社会福祉協議会	0182-47-2700
北	寺 内 淳 一	北福祉事務所長	企画福祉課	0186-52-3955
山 本	吉 田 浩 二	山本福祉事務所長	企画福祉課	0185-55-8023
中 央	町 本 修一郎	中央福祉事務所長	企画福祉課	018-855-5171
南	新 田 清 季	南福祉事務所長	企画福祉課	0182-32-3294

2. 地区・分区関係会議等

(1) 事務担当者会議

期 日 4月17日

会 場 秋田県社会福祉会館 10階大会議室

出席者数 47人

議 題 等 ・令和5年度事業報告
・令和6年度事業計画
・赤十字会員増強運動について
・地域包括ケアシステムへの貢献について

(2) 新任事務担当者研修会

期 日 8月22日

会 場 秋田県社会福祉会館 9階第3会議室

出席者数 12人

(3) 社業振興検討会

期 日 11月1日

会 場 秋田県社会福祉会館 9階第3会議室

出席者数 18人

議 題 等 ・令和7年度からの会員数及び活動資金額の目標数について
・赤十字災害救援車設置補助金交付要綱について
・各地区・分区での赤十字活動及び業務の情報交換

(4) 事業実態調査

期 日 令和7年1月～2月

対 象 秋田市地区、能代市地区、大館市地区、鹿角市地区、
北秋田市地区、上小阿仁村分区、藤里町分区、三種町分区、
八峰町分区

会 場 各地区・分区

4 活動資金の収納状況

1. 一般活動資金

(1) 会員数（協力会員を含む）及び活動資金額前年度実績比較

区 分		会 員 数			活 動 資 金 額		
		5 年度実績 人	6 年度実績 人	増 減 人	5 年度実績 円	6 年度実績 円	増 減 円
1	秋 田 市	15,389	11,944	△ 3,445	22,673,785	22,388,663	△ 285,122
2	能 代 市	4,315	3,480	△ 835	5,631,540	5,426,971	△ 204,569
3	横 手 市	11,727	11,201	△ 526	12,221,060	12,050,740	△ 170,320
4	大 館 市	7,387	6,971	△ 416	6,157,647	5,787,275	△ 370,372
5	男 鹿 市	8,173	7,560	△ 613	5,661,500	5,508,700	△ 152,800
6	湯 沢 市	12,604	12,194	△ 410	6,302,803	6,097,510	△ 205,293
7	鹿 角 市	7,935	7,641	△ 294	4,134,550	4,002,750	△ 131,800
8	由利本荘市	17,621	17,272	△ 349	13,257,690	12,962,840	△ 294,850
9	潟 上 市	1,950	1,650	△ 300	3,416,000	3,291,800	△ 124,200
10	大 仙 市	16,650	15,735	△ 915	12,780,570	12,206,650	△ 573,920
11	北 秋 田 市	7,688	7,407	△ 281	6,063,550	7,825,950	1,762,400
12	にかほ市	6,076	5,550	△ 526	4,913,100	4,687,240	△ 225,860
13	仙 北 市	6,433	6,034	△ 399	5,017,212	4,865,066	△ 152,146
14	小 坂 町	1,642	1,648	6	1,078,300	1,069,100	△ 9,200
15	上小阿仁村	607	575	△ 32	484,200	458,700	△ 25,500
16	藤 里 町	1,009	994	△ 15	743,000	729,100	△ 13,900
17	三 種 町	3,180	3,094	△ 86	2,819,400	2,652,240	△ 167,160
18	八 峰 町	2,351	2,318	△ 33	1,646,400	1,622,960	△ 23,440
19	五 城 目 町	2,703	2,648	△ 55	2,188,408	2,120,701	△ 67,707
20	八 郎 潟 町	1,724	1,714	△ 10	1,310,650	1,297,300	△ 13,350
21	井 川 町	1,237	1,262	25	890,702	896,300	5,598
22	大 潟 村	809	809	0	607,001	582,053	△ 24,948
23	美 郷 町	4,627	4,584	△ 43	4,565,000	4,494,000	△ 71,000
24	羽 後 町	4,070	4,007	△ 63	2,595,330	2,545,330	△ 50,000
25	東 成 瀬 村	702	689	△ 13	698,350	688,600	△ 9,750
	本社口座振替	45	42	△ 3	826,000	691,000	△ 135,000
	計	148,654	139,023	△ 9,631	128,683,748	126,949,539	△ 1,734,209
	支 部 扱	1,271	1,229	△ 42	10,557,287	186,196,786	175,639,499
総 計		149,925	140,252	△ 9,673	139,241,035	313,146,325	173,905,290

(2) 会員数（協力会員含む）及び活動資金額実績

区 分	会 員 数 等				寄付 件数 件	活 動 資 金 額			
	目 標 会員数 (A) 人	6 年 度 実 績 (B) 人	千円以上 会員実績 (C) 人	C / B %		日 標 額 (D) 円	会 費 (E) 円	寄 付 金 (F) 円	平均会費額 (E / B) 円
1 秋 田 市	17,360	11,944	3,260	27	13,300	24,147,600	11,315,017	11,073,646	22,388,663
2 能 代 市	5,525	3,480	128	4	370	6,097,400	2,041,100	3,385,871	5,426,971
3 横 手 市	14,022	11,201	313	3	550	13,001,500	8,093,450	3,957,290	12,050,740
4 大 館 市	9,000	6,971	607	9	199	7,315,600	4,007,800	1,779,475	5,787,275
5 男 鹿 市	8,633	7,560	674	9	0	6,113,100	5,508,700	0	5,508,700
6 湯 沢 市	12,390	12,194	0	0	0	6,414,700	6,097,510	0	6,097,510
7 鹿 角 市	8,188	7,641	274	4	27	4,466,200	3,993,800	8,950	4,002,750
8 由利本荘市	18,853	17,272	1,660	10	517	13,897,900	12,481,000	481,840	12,962,840
9 潟 上 市	3,387	1,650	17	1	70	4,087,800	855,700	2,436,100	3,291,800
10 大 仙 市	18,770	15,735	5,483	35	441	14,002,300	11,480,000	726,650	12,206,650
11 北 秋 田 市	8,500	7,407	2,908	39	52	6,490,700	5,814,000	2,011,950	7,825,950
12 に か ほ 市	7,150	5,550	8	0	1,173	5,078,200	3,865,300	821,940	4,687,240
13 仙 北 市	6,742	6,034	2,636	44	266	5,368,800	4,754,068	110,998	4,865,066
14 小 坂 町	1,833	1,648	34	2	42	1,182,100	1,056,500	12,600	1,069,100
15 上小阿仁村	649	575	202	35	0	543,900	458,700	0	458,700
16 藤 里 町	1,030	994	101	10	0	786,000	729,100	0	729,100
17 三 種 町	3,624	3,094	1,808	58	90	3,210,900	2,622,600	29,640	2,652,240
18 八 峰 町	2,470	2,318	1	0	0	1,726,900	1,622,960	0	1,622,960
19 五 城 目 町	2,882	2,648	3	0	1	2,305,100	2,120,700	1	2,120,701
20 八 郎 潟 町	1,847	1,714	75	4	0	1,422,500	1,297,300	0	1,297,300
21 井 川 町	1,300	1,262	174	14	1	932,500	896,000	300	896,300
22 大 潟 村	811	809	29	4	2	592,000	582,000	53	582,053
23 美 郷 町	4,781	4,584	4,396	96	9	4,745,100	4,493,000	1,000	4,494,000
24 羽 後 町	4,100	4,007	0	0	0	2,794,300	2,545,330	0	2,545,330
25 東 成 瀬 村	730	689	670	97	0	724,300	688,600	0	688,600
本社口座振替	0	42	42	100	0	0	691,000	0	691,000
計	164,577	139,023	25,503	18	17,110	137,447,400	100,111,235	26,838,304	126,949,539
支 部 扱	0	1,229	954	78	53	0	6,237,100	179,959,686	186,196,786
総 計	164,577	140,252	26,457	19	17,163	137,447,400	106,348,335	206,797,990	313,146,325
758									

2. 法人活動資金（指定寄付金含む）

協力法人数 社	活動資金額 円	内 訳		
		金 額 円	法 人 数 社	割 合 %
565	18,200,456	100万円以上	1	0.18
		50万円以上	3	0.53
		20万円以上	9	1.59
		10万円以上	9	1.59
		5 万円以上	28	4.96
		3 万円以上	251	44.42
		1 万円以上	224	39.65
		1 万円未満	40	7.08

3. 過去 5 年間の活動資金並びに会員数（協力会員含む）の推移

(1) 一般活動資金（個人指定寄付金含む）

年 度 別	収 納 実 績 円	前 年 度 比 %	会 員 数 人	前 年 度 比 %
2	153,249,956	101	163,645	96.7
3	149,502,075	97.5	162,582	99.3
4	144,907,539	96.9	157,490	96.8
5	139,241,035	96	149,925	95.1
6	313,146,325	224.8	140,252	93.5

(2) 法人活動資金（指定寄付金含む）

年 度 別	収 納 実 績 円	前 年 度 比 %	法 人 数 社	前 年 度 比 %
2	18,627,171	89	678	90.8
3	23,489,749	126.1	624	92.0
4	19,903,698	84.7	664	106.4
5	31,310,879	157.3	640	96.3
6	18,200,456	58.1	565	88.2

5 国 際 活 動

1 日赤第1ブロック共同開発協力支援事業の実施状況

人道ニーズへの支援として、自然災害や交通事故が多発している国や学校等における衛生環境改善、災害リスク軽減のニーズが高い国に対する資金援助協力を日赤第1ブロック（北海道・東北）合同の国際活動として実施した。

1) 資金援助協力の状況

ラオス	救急法普及支援事業	132,000円
バヌアツ	青少年赤十字海外支援事業	132,000円
ルワンダ	気候変動等レジリエンス強化事業	132,000円
アフガニスタン	気候変動対策事業	132,000円
（※各事業に対し、日赤第1ブロック全体でそれぞれ1,500,000円を支援）		
	秋田県支部負担計	528,000円
（※日赤第1ブロック全体で6,000,000円を支援）		

2 ルワンダにおける国際活動の普及啓発実施状況

令和5年度に支部職員による国際活動事業地（ルワンダ）の視察を通じて得た知見や現地駐在員との関係性を活用し、次のとおり日赤が実施している国際活動の普及を行った。

1) 秋田南高校探究活動「国際探究」フィールドワークの受入れ

日時：11月8日（金）14時～15時

生徒：1年生 9名

内容：子どもの感染症対策などについて、本社国際部及びルワンダ現地駐在員（オンライン）を含め、対話形式で実施した。

2) 赤十字関係者等への普及活動

期日	主催者	受講者別	人数 (人)	時間 (時間)
4月20日	日赤秋田県支部	救急法・水上安全法 指導員	73	0.5
6月29日	鹿角子どもSDGs	鹿角子どもSDGs	6	0.5
8月9日	秋田県立大学・秋田大学 学生赤十字奉仕団	奉仕団員・学生	8	0.5
9月25日	国際教養大学 学生赤十字奉仕団	奉仕団員・学生	11	0.5
9月30日	ノースアジア大学 厚生委員会 学生赤十字奉仕団	奉仕団員	1	0.5
10月24日	日本赤十字秋田看護大学 日本赤十字秋田短期大学 学生赤十字奉仕団	奉仕団員	3	0.5
計			102	3

3) ルワンダ青少年赤十字メンバーとのオンライン交流会

日時：2月17日（月）16時30分～18時10分

参加者：秋田県学生赤十字奉仕団 4名

ルワンダ Petit Seminaire Saint Vincent Ndera 赤十字クラブ 30名

内容：赤十字活動について、本社国際部及びルワンダ現地駐在員

（オンライン）を含め、Web形式で交流した。

3 「NHK海外たすけあいキャンペーン」の実施状況

12月1日～25日のキャンペーン期間中、銀行等で受付を行ったほか、NHK秋田放送局ロビーに受付窓口を設け救援金を募集した。

また、全県一斉街頭募金を行い、全県各地で奉仕団員が募金を呼び掛けた。

「全県一斉街頭募金」

参加奉仕団数 32団（青少年赤十字加盟校高校生を含む）

街頭募金額実績 714,138円

4 海外救援金の受付状況

（令和7年3月31日現在）

名 称	件数（件）	金額（円）
無指定海外救援金	2	123
中東人道危機救援金	1	1,100
バングラデシュ南部避難民救援金	3	2,989
アフガニスタン人道危機救援金	3	2,430
ウクライナ人道危機救援金	25	1,815,729
イスラエル・ガザ人道危機救援金	8	5,439
レバノン人道危機救援金	5	35,576
NHK海外たすけあいキャンペーン	82	1,336,695
計	129	3,200,081

6 災害救護事業等

1 災害救護活動

(1) 令和6年7月24日からの大雨災害救護活動の実施状況

ア 大雨の概況

県内では記録的な大雨によって由利本荘市の子吉川と支流の石沢川の堤防がいずれも数十メートルにわたって決壊した。

また、山形県では、25日の昼過ぎと夜遅くに線状降水帯が発生し、平年の7月の月降水量を上回る記録的な大雨となった。気象庁は25日の昼過ぎと夜遅くに、山形県の一部の市町村を対象に大雨特別警報を発表した。

この大雨の影響により、河川の氾濫、浸水害、土砂災害が発生し、人的被害、住家被害等が発生した。

イ 県内の被害状況（秋田県防災ポータルサイト：令和6年8月30日現在）

人的被害：3人				住家被害：311棟				
死 者	負 傷 者			全 壊	半 壊	床 上 浸 水	床 下 浸 水	一 部 破 損
	重傷	軽傷	小計					
2	0	1	1	3	48	18	237	5

ウ 秋田県支部の対応

・日赤災害医療コーディネートチームの派遣

第1班					
派 遣 要 員		所 属	派遣先	派遣期間	活動内容
コーディネーター	大 村 範 幸	秋田赤十字病院	秋田県庁	7月25日	県保健医療福祉調整本部 運営補助
スタッフ	竹 澤 雄 基				
第2班					
派 遣 要 員		所 属	派遣先	派遣期間	活動内容
コーディネーター	大 村 範 幸	秋田赤十字病院	由 利 本 荘 市	7月26日	避難所 アセスメント
スタッフ	遠 藤 恵美子				
	成 田 ますみ				
	竹 澤 雄 基				
	坂 本 和 寛				
連絡調整員	須 藤 大 稀	秋田県支部			

・こころのケア班の派遣

派遣要員		所属	派遣先	派遣期間	活動内容
ケア要員	富 樫 昭 子	秋田赤十字 病 院	山形県	8月22日 ～25日	避難所避難者へ のこころのケア 活動
	石 井 直 子				
主 事	大久保 範 子				

(2) 令和7年2月26日からの大船渡市赤崎町林野火災救護活動の実施状況

ア 火災の概況

令和7年2月26日、岩手県大船渡市赤崎町地内で林野火災が発生し、焼失面積はおよそ2,900ヘクタール、建物の被害は221棟にのぼった。

イ 被害状況（大船渡市ホームページ：令和7年4月4日現在）

人的被害：1人				住家被害：86棟		非住家被害：135棟	
死 者	負 傷 者			全 壊	その他	全 壊	その他
	重傷	軽傷	小計				
1	0	0	0	54	32	121	7

ウ 秋田県支部の対応

・こころのケア班の派遣

派遣要員		所属	派遣先	派遣期間	活動内容
ケア要員	遠 藤 恵美子	秋田赤十字 病 院	岩手県	3月12日 ～14日	避難所避難者へ のこころのケア 活動及び 避難所環境改善
	三 浦 則 子				
主 事	瓜 生 拓				

(3) 県内各地で発生した火災・水害等の被災者に対して、次のとおり日赤地区・分区を通じて救援物資・災害見舞金を贈った。

(令和 7 年 3 月 31 日現在)

区 分	救 援 物 資		見 舞 金 円
	毛 布 (枚)	緊急セット (個)	
秋 田 市	—	—	110,000
能 代 市	10	9	100,000
横 手 市	7	3	180,000
大 館 市	6	5	100,000
男 鹿 市	—	—	—
湯 沢 市	—	—	—
鹿 角 市	—	—	20,000
由利本荘市	7	3	90,000
潟 上 市	6	1	60,000
大 仙 市	25	9	170,000
北 秋 田 市	1	4	60,000
に か ほ 市	—	—	30,000
仙 北 市	2	2	40,000
小 坂 町	—	—	—
上小阿仁村	—	—	—
藤 里 町	—	—	—
三 種 町	4	6	30,000
八 峰 町	—	—	—
五 城 目 町	—	—	—
八 郎 潟 町	—	—	—
井 川 町	—	—	—
大 潟 村	—	—	—
美 郷 町	4	1	20,000
羽 後 町	4	2	30,000
東成瀬村	—	—	—
計	76	45	1,040,000

2 訓練・研修会の実施状況

災害救護訓練等

訓 練 名	期 日	場 所	主 催 者	人数	内 訳
日赤災害医療 コーディネート 研修会	①7月5日 ～6日 ②11月23日 ～24日	東 京 都 港 区	日本赤十字社 本 社	2	コーディネーター 各1
こころのケア指導者養成研修会	10月9日 ～10日			1	支部
日赤災害医療コーディネート フォローアップ 研修会	2月15日			16	支部1、病院15
第1ブロック支部 合同災害救護訓練	10月4日 ～5日	北 海 道 北 見 市	北海道・東北 の道県支部	13	支部3、救護班6 コーディネート チーム等4
第1ブロック支部 日赤災害医療コーディネーター 連絡会	10月4日			2	コーディネーター1 支部1
第1ブロック赤十字 救護班研修会	9月21日 ～22日			12	支部1、救護班5 指導スタッフ3 指導スタッフ候補3
こころのケア研修会	9月3日	秋 田 市	日赤秋田県支部	17	支部1、病院14 血液センター2
支部災害対策本部 設置訓練	9月25日			4	支部2、病院2
秋田県総合防災訓練	9月1日	三 種 町	秋 田 県 能 代 市 三 種 町 八 峰 町	11	支部2、救護班7 防災ボランティア2
秋田県保健医療福祉 調整本部 コーディネート訓練		秋 田 市	秋 田 県	4	コーディネート チーム
秋田県冬期防災訓練	2月9日	北秋田市	秋 田 県 北秋田市	8	支部2、救護班6
秋田県・鹿角市・日赤 合同災害救護訓練	12月21日	鹿 角 市	秋 田 県 鹿 角 市 日赤秋田県支部	24	支部3、救護班7 コーディネートチー ム3 病院ファシリテーター 7 防災ボランティア4
秋田市総合防災訓練	8月30日	秋 田 市	秋 田 市	10	支部2、救護班6 病院ファシリテーター 2
秋田空港総合防災訓練	9月25日		秋田空港	7	支部1、救護班6
東北管区広域緊急 援助隊合同訓練	11月11日		秋 田 県 警察本部	8	支部1、救護班5 病院ファシリテーター 2

3 臨時救護

各種団体が開催する公的行事に、次のとおり看護師を派遣した。

派遣期日	行事の名称	派遣場所	派遣延べ 人 数	取扱患者数
7月13日	令和6年度海難救助訓練大会	男 鹿 市	看護師 1	0
9月3日	第37回秋田県高齢者8人制バレーボール親睦交流大会	秋 田 市	看護師 1	1
10月23日	第61回秋田県老人クラブ大会	秋 田 市	看護師 1	0
計	3回(延3日)	看護師 3人		1

4 防災教育事業の実施状況

(1) 「赤十字防災セミナー」の実施状況

内容

- ①災害への備え
- ②地域で防災マップを作ろう
- ③被災者体験談から学ぼう
- ④家庭内の危険を探そう
- ⑤避難所運営を体験しよう
- ⑥炊き出し

開催地	期 日	主 催 者	対 象	人数 (人)	時間 (時間)	指導者
秋 田 市	4月20日	日本赤十字社秋田県支部	赤 十 字 関 係 者	51	1	(支)菊地・ 須藤・碓谷
	5月18日	パークハイツ中通管理組合	一 般	22	0.75	(※)菅原
	6月7日	あさひかわこども園	幼 保 児 者	94	1	(支)碓谷 川上
	6月10日	手話サークルたんぽぽ	一 般	11	1	(支)碓谷
	6月11日	土崎地区社会福祉協議会	一 般	78	0.75	(※)竹内
	6月22日	東北労働金庫労働組合 秋田県支部	一 般	30	0.75	(※)竹内
	6月27日	株式会社社長谷駒組	一 般	66	0.5	(※)竹内
	6月29日	秋田県青少年交流センター	生徒・学生 職 員	9	1	(※)竹内
	7月7日	秋田県立 秋田明徳館高等学校	生徒職員	430	1	(※)竹内
	7月13日	四ツ小屋地域 元気づくり協議会	一 般	40	0.75	(調)竹澤 石井
	7月30日	秋田県立視覚支援学校	職員一般	22	1.5	(※)竹内
	8月22日	日本赤十字社秋田県支部	地区・分区 担 当 者	11	1.5	(支)須藤 川上
	8月25日	松崎団地町内会	一 般	40	1.5	(調)松渕 (※)竹内
	9月3日	睦月の会	一 般	30	1.25	(支)菊地
	9月4日	秋田市泉学童クラブ	児 童	29	0.75	(※)竹内
	9月8日	若草団地町内会	一 般	22	1	(※)竹内

開催地	期 日	主 催 者	対 象	人数 (人)	時間 (時間)	指導者
秋 田 市	9 月 9 日	土崎地区社会福祉協議会	一 般	27	1	(※)竹内
	9 月 9 日	土崎地区社会福祉協議会	一 般	32	1	(※)佐々木靖
	10月10日	日赤秋田市地区	一 般	23	0.5	(※)須藤
	10月19日	日本赤十字社秋田県支部	赤 十 字 関 係 者	8	1	(※)菊地 川上
	12月 3 日	土崎地区老人クラブ連合会	一 般	50	0.75	(※)竹内
	12月 5 日	秋田県公立小中学校事務 職員研究協議会	一 般	92	1.5	(※)川上 (※)竹内
	1 月18日	JA あきた女性組織協議会	一 般	18	1.75	(※)竹内 渡辺
	1 月20日	秋田市東部市民 サービスセンター	一 般	24	1.25	(※)川上
	1 月25日	秋田県総合保健事業団	一 般	43	1.5	(※)竹内 渡辺
	2 月16日	秋田県聴力障害者協会	一 般	36	1.75	(※)竹内 斎藤
	2 月23日	日本赤十字社秋田県支部	奉 仕 団	11	1	(※)菊地 川上
	3 月 5 日	秋田県地質調査業協会	一 般	32	1	(※)松淵 藤森
	3 月23日	新藤田町内会	一 般	20	1	(※)竹内
横 手 市	6 月 8 日	JAM 北東北	一 般	22	2	(※)須藤
	7 月23日	秋田県立雄物川高等学校	職 員	13	1	(※)佐々木靖
	10月 6 日	横手平鹿手話研究会	一 般	19	1	(※)高橋里 高橋文
	12月 8 日	日赤横手市地区増田分区	奉 仕 団	60	1	(※)高橋邦
	1 月30日	横手市地域運営協議会	一 般	170	0.25	(※)飯沼
大 館 市	6 月24日	大館市大館赤十字奉仕団	奉 仕 団	27	2	(※)碓谷 (※)糸屋幸
	8 月 3 日	ニプロユニオン大館支部	一 般	10	1.5	(※)竹内
	8 月28日	秋田県立比内支援学校	児童生徒 一 般	122	3.75	(※)碓谷 (※)梅田
由 本 利 市	10月 9 日	由利本荘市鳥海赤十字奉仕団	奉 仕 団	16	2	(※)碓谷 川上
	10月19日	由利本荘市西目赤十字奉仕団	奉 仕 団	36	1	(※)稲岡 碓谷
	10月29日	由利エコプロ	一 般	34	1.5	(※)碓谷 (※)竹内
	11月27日	由利本荘市大内赤十字奉仕団	奉 仕 団	10	1	(※)菊地 (※)高橋邦
男 鹿 市	10月 2 日	男鹿市社会福祉協議会	一 般	21	1.5	(※)碓谷 (※)竹内
	11月14日	男鹿市食生活改善推進 協議会	一 般	14	1.5	(※)碓谷 川上
湯 沢 市	11月13日	湯沢市立稲川中学校	生 徒 一 般	200	2	(※)菊地・川上 (※)小沼 (※)伊藤 (※)竹内 高橋邦・銭谷
大 仙 市	10月18日	大仙市協和赤十字奉仕団	奉 仕 団	34	1.5	(※)碓谷 (※)高橋邦

開催地	期 日	主 催 者	対 象	人数 (人)	時間 (時間)	指導者
大 仙 市	11月24日	大仙市中仙赤十字奉仕団	奉 仕 団	30	1	(※)高橋邦
鹿 角 市	6 月20日	鹿角市社会福祉協議会	一 般	13	1	(支)菊地
	6 月21日	鹿角市社会福祉協議会	一 般	34	1	(支)菊地
	6 月24日	鹿角市社会福祉協議会	一 般	21	1	(支)川上
	6 月25日	鹿角市社会福祉協議会	一 般	45	1	(支)川上
	8 月27日	鹿角市社会福祉協議会	一 般	27	1.5	(※)佐藤勇
	9 月27日	鹿角市立花輪小学校	児 童	360	0.45	(※)佐藤勇
北 秋 田 市	5 月11日	北秋田市赤十字奉仕団	奉 仕 団	100	1	(支)菊地
	11月 6 日	北秋田市森吉赤十字奉仕団	奉 仕 団	55	1.5	(支)菊地 (※)糸屋幸
仙 北 市	10月 4 日	仙北市総合防災課	奉 仕 団	16	3	(※)高橋邦
上小阿仁村	5 月20日	上小阿仁村赤十字奉仕団	奉 仕 団	32	1	(支)菊地 (※)竹内
三 種 町	9 月 1 日	三種町赤十字奉仕団	奉 仕 団	40	3.5	(※)高橋邦 梅田
八 峰 町	1 月23日	八峰町八森赤十字奉仕団	奉 仕 団	21	2.5	(支)碓谷 (※)佐藤勇 菅原・佐々木靖
藤 里 町	6 月22日	藤里町馬坂出戸小比内地区自治会	一 般	15	2	(※)梅田
八 郎 潟 町	8 月 8 日	八郎潟町社会福祉協議会	一 般	55	2	(支)碓谷 (※)梅田
	2 月23日	八郎潟町10区町内会	一 般	14	1	(※)竹内 畑澤
大 潟 村	11月11日	大潟村立大潟小学校	教 員 一 般	28	1	(支)碓谷
羽 後 町	7 月18日	羽後町立羽後中学校	生 徒	125	4	(支)菊地 (※)錢谷 高橋邦・高橋里
	11月13日	羽後町企画財政課	一 般	60	0.5	(※)高橋里
東 成 瀬 村	9 月29日	東成瀬村健康福祉課	一 般	16	1.5	(支)碓谷 (※)錢谷
計		65回		3,316	86.95	

(2) 日本赤十字社防災教育事業主任指導者研修

期 日 5 月17日
 会 場 Web 会議
 参 加 者 日赤秋田県支部職員 2 人

(3) 日本赤十字社防災教育事業指導者フォローアップ研修

(本社主催)

期 日 9 月 4 日～ 5 日
 会 場 日本赤十字社
 参 加 者 日赤秋田県支部職員 1 人

(支部主催)

期	日	12月1日		
会	場	日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学		
参	加	者	防災教育事業指導者	12人

(4) 指導者養成講習会

期	日	11月30日～12月1日						
会	場	日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学						
主	任	指	導	者	日赤秋田県支部	事業推進課	菊地	雄大
							川上	恵
受	講	者	数	24人	(男	17人、女	7人)	
合	格	者	数	24人	(男	17人、女	7人)	

5 赤十字災害救援車の寄贈配置

地域において、赤十字活動の推進に活用いただくことを目的に、平成15年度から年次計画に基づき災害救援車を市町村（地区・分区）に寄贈配置することとし、今年度は次のとおり寄贈した。

配	置	台	数	2台
車		種		ホンダ N-WGN（軽四輪自動車）
配	置	地区・分区		由利本荘市、鹿角市
累		計		105台（平成15年度～）

6 救護装備の寄贈配置

地域において住民の安全・健康の保持や地域活動の活性化に資することを目的に、救護装備品を地区・分区に寄贈配置することとし、今年度は次のとおり寄贈した。

(1) A E D（自動体外式除細動器）

配	置	台	数	3台
配	置	地区・分区		北秋田市、上小阿仁村、藤里町
累		計		141台（平成20年度～）

(2) 発電機 (LP ガス)

配 置 台 数	4 台
配置地区・分区	能代市、由利本荘市、大仙市、小坂町
累 計	4 台

(3) ワンタッチテント

配 置 台 数	3 張
配置地区・分区	能代市、藤里町、五城目町
累 計	73張 (平成28年度～)

(4) 救護資器材倉庫

配 置 台 数	1 棟
配置地区・分区	湯沢市
累 計	6 棟 (令和 4 年度～)

(5) 避難所用防災テント

配 置 台 数	37張
配置地区・分区	横手市 (30)、小坂町 (5)、藤里町、東成瀬村
累 計	188張 (令和 4 年度～)

(6) ポータブル電源

配 置 台 数	9 台
配置地区・分区	能代市、横手市、大館市、男鹿市、由利本荘市、大仙市、にかほ市、五城目町、大潟村
累 計	23台 (令和 5 年度～)

(7) 簡易ベッド

配 置 台 数	15台
配置地区・分区	大館市
累 計	20台 (令和 5 年度～)

(8) 寝袋（新規）

配 置 台 数 21箱

配置地区・分区 横手市（7）、由利本荘市（4）、大仙市（2）、
八郎潟町（3）、井川町（1）、美郷町（4）

累 計 21箱

7 救護資器材の整備

- ・救護員作業衣等（冬用作業衣（上下）20、作業用ベスト6）購入
- ・400MHz 業務用携帯無線機4機購入
- ・トラック1台 本社整備

8 救護員登録状況

(1) 救護員登録状況

（令和7年3月31日現在）

施 設 別	人 数（人）		
	災害対策本部要員	救 護 班 要 員	血 液 供 給 要 員
支 部	8	—	—
病 院	24	74	—
血液センター	2	—	2
計	34	74	2

※病院の災害対策本部要員については日赤災害医療コーディネートチームであり

内訳は次のとおり

- ・日赤災害医療コーディネーター 7人
- ・日赤災害医療コーディネートスタッフ 17人

(2) 救護班の編成状況

（令和7年3月31日現在）

常 置 施 設	救護班数（班）	救護班要員数（人）	職種別要員数（人）
病 院	9	74	医 師 9 看護師長 9 看護師 19 主 事 25 薬剤師 9 助産師 3

(3) こころのケア指導者・要員の登録状況

(令和7年3月31日現在)

施設別	人数(人)	
	こころのケア指導者	こころのケア要員
支部	1	5
病院	11	129
血液センター	0	3
乳児院	0	0
看護大学・短大	1	0
計	13	137

(4) 日本DMAT及び秋田ローカルDMAT隊員の登録状況

(令和7年3月31日現在)

常置施設	隊員登録者数(人)	職種別要員数(人)
病院	37	医師 9
		看護師 15
		業務調整員 13

9 防災ボランティア登録状況

(令和7年3月31日現在)

区分	男女別数(人)		計(人)
防災ボランティア・リーダー	男	8	9
	女	1	
防災ボランティア	男	7	13
	女	6	
計	男	15	22
	女	7	

10 救護資器材の主な装備状況

(令和 7 年 3 月31日現在)

資 器 材 名	数 量	備 考
150MHZ 帯業務用無線機	33	基地局 1、移動局23、携帯用 9 (血液センターを含む)
400MHZ 帯業務用無線機	24	基地局 1、移動局 9、携帯用14
アマチュア無線機	4	アマチュア無線奉仕団用 (内、携帯用 2)
防災行政用無線電話	1	
衛星携帯電話	3	車載 1、可搬型 2
デジタル簡易無線機	10	
トランシーバー	10	
医療セット	3	
携帯型医療セット	1	
発電機	6	ガソリン燃料 5、LP ガス燃料 1
投光器	2	
担架	15	
折りたたみ寝台	31	
天幕	8	
移動炊飯器	6	
救急車	1	病院
災害救援車	6	支部
エアーテント	1	
組立てトランク型自動ラップ式トイレ式	10	消耗品セット、バッテリー、テント含む
患者掲示板	1	
ホワイトボード	1	
担架架台	1	
折りたたみ診察台	1	
折りたたみテーブル	2	
折りたたみ椅子	4	
医療セット置き台	1	
ノートパソコン	1	
拡声器	2	
救護所標示灯	1	
救護活動用自転車	1	
救護活動用車椅子	1	
トリアージシート	2	4 色 (黒・赤・黄・緑) × 2 組
パルスオキシメーター	1	
AED	2	
フレームテント	2	ドラッシュテント
モバイルプリンター	1	
デジタル個人線量計	14	
空中線量率測定用サーベイメータ	1	
避難所用防災テント	103	
蓄電池	5	大 2、小 3
寝袋	34	タイベック

11 救援物資の備蓄状況

品 名	数 量
毛 布	1,650枚
タオルケット	2,196枚
緊急セット	1,078個
安眠セット	641個

12 救護看護師の養成等

「救護員としての赤十字看護師」として登録・任命するため必要な知識、技術、態度を習得することを目的とし、秋田赤十字病院に採用された3年目の看護師を対象に5日間の研修を実施した。（修了者21人）

13 義援金の受付状況

（令和7年3月31日現在）

名 称	件数（件）	金額（円）
令和6年能登半島地震災害義援金	266	18,893,673
令和6年7月25日からの大雨災害義援金	222	43,413,838
令和6年9月能登半島大雨災害義援金	91	2,423,065
令和6年沖縄県北部豪雨災害義援金	4	32,277
令和7年大船渡市赤崎町林野火災義援金	51	1,089,936
計	634	65,852,789

7 救急法・健康生活支援講習等の普及

1 総括表

種別	講習名称	回数 (回)	受講者数 (人)	資格取得者数 (人)
救急法	基礎講習	21	462	462
	救急員養成講習	15	352	351
	短期講習	130	4,439	
	計	166	5,253	813
健康生活支援講習	支援員養成講習	3	77	77
	災害時生活支援講習（高齢者）	12	454	
	短期講習	39	1,382	
	計	54	1,913	
水上安全法	救助員Ⅰ養成講習	1	12	7
	短期講習	44	1,414	
	計	45	1,426	7
幼児安全法	支援員養成講習	4	107	107
	短期講習	27	343	
	災害時生活支援講習 （乳幼児と保護者）	2	55	
	計	33	505	
雪上安全法	救助員Ⅰ養成講習	1	23	23
	短期講習	0	0	
	計	1	23	23
総計		299	9,120	843

2 救急法

病気やけがや災害から自分自身を守り、けが人や急病人を正しく救助して、医師または救急隊などに引き継ぐまでの救命手当及び応急手当について指導する救急法の講習を次のとおり実施した。

(1) 一般普及講習及び短期講習の開催状況

開催地	期日	主催者	受講者別	人数 (人)	時間 (時間)	指導員	資格取得者数 (基礎)	資格取得者数 (救急員)
秋田市	4月4日	秋田県労働基準協会	一般	40	2.5	(※)碓谷・川上 (※)竹内・三森		
	4月4日	秋田県労働基準協会	一般	39	2.5	(※)碓谷・川上 (※)竹内・三森		
	4月12日	秋田リハビリテーション学院	学生	40	1.5	(※)長谷川		
	4月16日	(株)ユアテック秋田支社	職員	23	1.5	(※)碓谷		
	4月24日	秋田県林業研究研修センター	研修生	11	4	(※)碓谷 (※)佐々木靖	11	
	4月26日	秋田赤十字病院	職員	19	1	(※)竹澤・石井・加賀谷 (※)樺田		

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資 格 取得者数 (基 礎)	資 格 取得者数 (救急員)
秋 田 市	5 月13日	秋田県林業労働対策基金	林 従 事 業 者	17	4	(※)碓谷	17	
	5 月19日	秋田市外旭川 みのり町町内会	一 般	15	1	(※)川上 (※)竹内		
	5 月26日	日本赤十字社秋田県支部	幼 児 児 童	10	0.25	(※)竹内・岡部		
	5 月26日	日本赤十字社秋田県支部	幼 児 児 童	11	0.25	(※)竹内・岡部		
	5 月26日	日本赤十字社秋田県支部	幼 児 児 童	10	0.25	(※)竹内・岡部		
	5 月26日	日本赤十字社秋田県支部	幼 児 児 童	9	0.25	(※)竹内・岡部		
	5 月26日	日本赤十字社秋田県支部	幼 児 児 童	10	0.25	(※)竹内・岡部		
	5 月26日	日本赤十字社秋田県支部	幼 児 児 童	2	0.25	(※)竹内・岡部		
	5 月26日	日本赤十字社秋田県支部	幼 児 児 童	3	0.25	(※)竹内・岡部		
	5 月26日	日本赤十字社秋田県支部	幼 児 児 童	9	0.25	(※)竹内・岡部		
	5 月26日	日本赤十字社秋田県支部	幼 児 児 童	9	0.25	(※)竹内・岡部		
	5 月26日	日本赤十字社秋田県支部	幼 児 児 童	9	0.25	(※)竹内・岡部		
	5 月26日	日本赤十字社秋田県支部	幼 児 児 童	14	0.25	(※)竹内・岡部		
	5 月26日	日本赤十字社秋田県支部	幼 児 児 童	10	0.25	(※)竹内・岡部		
	5 月26日	日本赤十字社秋田県支部	幼 児 児 童	2	0.25	(※)竹内・岡部		
	5 月26日	日本赤十字社秋田県支部	幼 児 児 童	2	0.25	(※)竹内・岡部		
	5 月30日	秋田市立 山王中学校	生 徒	60	1	(※)菊地		
	5 月30日	秋田市立 山王中学校	生 徒	60	1	(※)碓谷・川上		
	5 月30日	秋田市立 山王中学校	生 徒	100	1	(※)菊地		
	5 月30日	秋田市立 山王中学校	生 徒	100	1	(※)碓谷・川上		
	5 月31日	ライオンズマンション 千秋公園管理組合	一 般	32	1.5	(※)竹内		
	6 月 5 日	日本赤十字 秋田看護大学	大 学 生	56	7	(※)碓谷 (※)萩原・新沼 (※)竹内・松淵	56	
	6 月 6 日	日本赤十字 秋田看護大学	大 学 生	58	7	(※)碓谷 (※)萩原・新沼 (※)松淵	58	
	6 月 8 日	日赤秋田県支部	一 般	26	4	(※)竹内・板倉・岡部	26	
	6 月10日	手話サークルたんぽぽ	一 般	11	0.5	(※)碓谷		
	6 月13日	秋田南高等学校・中等部	教 職 員	24	1	(※)長谷川・竹内		

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資 格 取得者数 (基 礎)	資 格 取得者数 (救急員)
秋 田 市	6 月14日	秋田南高等学校・中等部	教 職 員	17	1	(※)伊藤三		
	6 月14日	秋田県看護協会	教 職 員	11	2	(※)菊地		
	6 月19日	秋田県労働基準協会	一 般	40	2.5	(※)碓谷 (※)伊藤 (※)佐々木 (※)竹内		
	6 月19日	秋田県労働基準協会	一 般	40	2.5	(※)碓谷 (※)伊藤 (※)佐々木 (※)竹内		
	6 月22日	東北労働金庫労働組合 秋田県支部	従 業 員	30	0.5	(※)竹内		
	6 月23日	東電化工業株式会社	一 般	60	3	(※)竹内・高橋邦・岡部		
	6 月29日	日本赤十字秋田看護大学 短期大学	大 学 生	62	1.5	(※)高橋邦		
	6 月29日	日本赤十字秋田看護大学 短期大学	大 学 生	62	1.5	(※)岡部		
	6 月29日	秋田県 青少年交流センター	高 校 生 職 員	9	1	(※)三浦(※)竹内		
	7 月 2 日 ～ 3 日	日本赤十字秋田看護大学	大 学 生	56	12	(※)菊地 (※)竹澤 (※)小笠原 (※)萩原 (※)新沼 (※)高橋邦		56
	7 月 4 日 ～ 5 日	日本赤十字秋田看護大学	大 学 生	58	12	(※)川上 (※)石井 (※)新沼 (※)竹内 (※)松淵・佐々木靖		57
	7 月 9 日	秋田県社会福祉協議会	介 護 職 員	18	2	(※)碓谷 (※)佐々木靖		
	7 月 9 日	秋田県社会福祉協議会	介 護 職 員	16	2	(※)碓谷 (※)佐々木靖		
	7 月11日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	1	1	(※)伊藤一		
	7 月13日	四ツ小屋 地域元気づくり協議会	一 般	40	0.5	(※)竹澤・石井		
	7 月19日	日本赤十字社秋田県支部	一 般	5	4	(※)長内・大塚・伊藤三	5	
	7 月28日	秋田県赤十字病院	一 般	191	4.5	(※)田口・竹内		
	8 月21日	秋田県建設業協会	従 業 員	14	1	(※)川上 (※)竹内		
	8 月25日	松崎団地町内会	一 般	40	0.5	(※)竹内		
	8 月28日	秋田市南西部圏域 認知症ケア勉強会	一 般	15	2	(※)佐々木靖		
	8 月28日	日本赤十字秋田短期大学	大 学 生	8	4	(※)菊地 (※)鎌田 (※)佐々木靖	8	
	8 月29日 ～30日	日本赤十字秋田短期大学	大 学 生	8	12	(※)碓谷・川上 (※)竹内 (※)長谷川・佐々木靖		8
	8 月31日	ボーイスカウト 秋田第33団	一 般	7	4	(※)川上 (※)伊藤三・板倉	7	
	8 月31日 ～ 9 月 1 日	ボーイスカウト 秋田第33団	一 般	13	5.5	(※)伊藤三・板倉・大塚 (※)渡辺		
	9 月 8 日	若草団地町内会	一 般	22	0.5	(※)竹内		
	9 月 9 日 ～10日	秋田県警察学校	警 察 官	22	6	(※)田口	22	
	9 月11日	秋田県労働基準協会	一 般	39	2.5	(※)碓谷 (※)鎌田 (※)小笠原 (※)竹内		
	9 月11日	秋田県労働基準協会	一 般	40	2.5	(※)碓谷 (※)鎌田 (※)小笠原 (※)竹内		

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資 格 取得者数 (基 礎)	資 格 取得者数 (救急員)
秋 田 市	9月11日 ～13日	秋田県警察学校	警 察 官	22	12	(※)田口		22
	9月18日	日本赤十字秋田看護大学 短期大学	大 学 生	343	4	(※)川上 (※)荻原・新沼 (※)高橋邦・松淵・渡辺		
	9月19日	日本赤十字秋田看護大学 短期大学	大 学 生	343	6	(※)荻原・新沼 (※)松淵・渡辺		
	9月23日	秋田魁新報社	一 般	90	6	(※)竹内・松淵		
	9月25日	泉学童クラブ	児 職 童 員	28	1	(※)碓谷		
	9月28日	日本赤十字社秋田県支部	一 般	29	4	(※)竹内・岡部・渡辺	29	
	9月30日	下和田サロン スマイル	一 般	10	1	(※)碓谷		
	10月5日 ～6日	日赤秋田県支部	一 般	22	12	(※)竹内・佐々木靖 (※)長内・岡部		22
	10月6日	飯島街道町内会	一 般	46	1	(※)碓谷		
	10月9日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	5	1	(※)伊藤一		
	10月10日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	5	1	(※)伊藤一		
	10月19日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	3	1	(※)伊藤一		
	10月20日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	2	1	(※)伊藤一		
	11月7日	秋田県労働基準協会	一 般	40	2.5	(※)碓谷・高橋 (※)竹澤 (※)竹内		
	11月7日	秋田県労働基準協会	一 般	40	2.5	(※)碓谷・須藤 (※)竹澤 (※)竹内		
	11月8日	秋田県教育委員会	教 職 員	48	2	(※)長内・佐々木弘		
	11月10日	外旭川みのり町町内会	一 般	12	1	(※)板倉・渡辺		
	11月17日	秋田県理学療法士会	一 般	17	2.5	(※)長谷川		
	11月18日	白百合学童保育クラブ	児 職 童 員	43	1	(※)碓谷 (※)竹内		
	11月18日	日本赤十字秋田看護大学 短期大学	教 職 員	13	1.5	(※)荻原・新沼		
	11月18日 ～19日	秋田県警察学校	警 察 官	53	6	(※)田口	53	
	11月20日	秋田リハビリテーション 学院	学 生	38	5	(※)碓谷・川上 (※)長谷川	38	
	11月20日 ～22日	秋田県警察学校	警 察 官	53	12	(※)田口		53
	11月21日 ～22日	秋田リハビリテーション 学院	学 生	38	12	(※)碓谷・川上 (※)小笠原 (※)長谷川・竹内		38
	11月25日	秋田大学教育文化学部 附属小学校	児 保 護 童 者	200	1	(※)碓谷・淡路 (※)伊藤三		
	11月26日	秋田県看護協会	看 護 師	14	2	(※)川上		
	11月28日	秋田南高等学校・中等部	教 職 員	26	1	(※)竹内		
	12月7日	秋田県 赤十字救急法奉仕団	一 般	24	4	(※)田口・竹内・岡部 (※)板倉・松淵	24	
	12月14日	秋田県水泳連盟	ス ポ ーツ 指 導 員 (水泳) 基 礎 水 泳 指 導 員	23	1.5	(※)佐々木靖		

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資 格 取得者数 (基 礎)	資 格 取得者数 (救急員)
秋 田 市	12月14日 ～15日	秋田県 赤十字救急法奉仕団	一 般	14	12	(※)田口・竹内・岡部 (※)板倉・松測		14
	1月14日	秋田県立 歯科医療専門学校	専 門 学 生	33	6	(※)菊地・川上	33	
	1月15日 ～16日	秋田県立 歯科医療専門学校	専 門 学 生	30	12	(※)菊地・碓谷・川上 (※)竹澤・石井		30
	2月6日	秋田県労働基準協会	一 般	40	2.5	(※)碓谷 (※)石井 (※)野呂 (※)竹内		
	2月6日	秋田県労働基準協会	一 般	40	2.5	(※)碓谷 (※)石井 (※)野呂 (※)竹内		
	2月19日	秋田市赤十字奉仕団	一 般	55	0.5	(※)碓谷・鎌田 (※)須藤・川上		
	3月1日	日本赤十字社秋田県支部	一 般	20	4	(※)竹内・板倉・長谷川	20	
	3月5日	秋田県地質調査業協会	一 般	32	1	(※)松測・佐藤美		
	3月6日	聖霊学園高等学校	生 徒	73	1	(※)竹内・松測		
	3月6日	聖霊学園高等学校	生 徒	78	1	(※)竹内・松測		
	3月23日	新藤田町内会	一 般	20	1	(※)竹内・長谷川		
能 代 市	7月8日	能代市立 第四小学校	児 童	72	1	(※)碓谷 (※)佐藤勇 (※)今井・大塚・秋山里		
	7月8日	能代市立 第四小学校	教 職 員	31	1	(※)碓谷 (※)佐藤勇 (※)今井・秋山里		
	7月17日	能代市立 能代東中学校	生 徒	98	2	(※)碓谷 (※)佐藤勇 (※)大塚・秋山里		
	9月10日	能代市立 能代第二中学校	生 徒	89	1	(※)碓谷 (※)佐藤勇・柴田		
	10月5日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	2	1	(※)伊藤一		
	10月16日	能代市立 東雲中学校	生 教 職 員	65	1	(※)菊地 (※)佐藤勇		
	10月27日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	1	1	(※)伊藤一		
	11月1日	能代市赤十字奉仕団	一 般	32	1.5	(※)佐藤勇・柴田		
	11月2日	秋田県 赤十字救急法奉仕団	一 般	5	4	(※)佐藤勇・長内・柴田 (※)大塚・竹内	5	
	11月3日 ～4日	秋田県 赤十字救急法奉仕団	一 般	5	12	(※)佐藤勇・長内・ 糸屋幸・大塚・竹内		5
横 手 市	3月19日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	1	1	(※)伊藤一		
	4月3日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	1	1	(※)伊藤一		
	5月20日	秋田県立 横手城南高等学校	教 職 員	20	1	(※)碓谷		
	9月18日	秋田県立 雄物川高等学校	生 徒	29	1.5	(※)碓谷		
	10月1日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	3	1	(※)伊藤一		
	10月9日	秋田県立 横手城南高等学校	教 職 員	16	1	(※)佐々木靖		
	11月11日	日赤横手市地区	一 般	16	1	(※)佐々木靖・佐藤美		
湯 沢 市	8月21日	秋田県立 湯沢翔北高校専攻科	専 攻 科 生	10	4	(※)碓谷 (※)銭谷	10	

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資 格 取得者数 (基 礎)	資 格 取得者数 (救急員)
湯 沢 市	8月22日 ～23日	秋田県立 湯沢翔北高校専攻科	専 攻 科 生	10	12	(※)碓谷 (※)高橋邦 (※)高橋文・佐野		10
	10月26日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	3	1	(※)伊藤一		
	11月1日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	1	1	(※)伊藤一		
	11月14日	日赤湯沢市地区	一 般	12	1.5	(※)銭谷、高橋里		
	12月2日	湯沢市教育委員会	稲 川 ス キ ー 業 務 従 事 者	18	2	(※)佐々木靖・土井雅 (※)土井智		
	1月10日	湯沢市立 稲川中学校	教 職 員	15	1	(※)銭谷		
鹿 角 市	4月6日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	1	1	(※)伊藤一		
	9月25日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	1	1	(※)伊藤一		
	10月2日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	4	1	(※)伊藤一		
	12月27日	鹿角市スキー連盟	一 般	5	4	(※)長谷川	5	
	12月27日 ～29日	鹿角市スキー連盟	一 般	3	12	(※)長谷川		3
	1月22日	鹿角市すこやか子育て課	職 員	20	2	(※)長内・糸屋幸・糸屋賢		
由利本荘市	7月29日	秋田県立 ゆり支援学校	教 職 員	36	1	(※)碓谷 (※)高橋邦		
	8月26日	秋田県立 由利高等学校	教 職 員	40	1	(※)佐々木靖・佐々木弘		
	9月15日	特定非営利活動法人 秋田県防災士会	一 般	18	2	(※)竹内・田口		
	10月4日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	3	1	(※)伊藤一		
	11月6日	社会福祉法人久盛会 あまざき園	介 護 職 員	14	2	(※)碓谷		
	11月27日	由利本荘市 大内赤十字奉仕団	一 般	10	1	(※)菊地 (※)高橋邦		
	1月27日	由利本荘医師会病院	職 員	20	1	(※)碓谷・須藤 (※)佐々木弘		
男 鹿 市	12月13日	男鹿市立 脇本第一小学校	教 保 職 護 員 者	30	1	(※)碓谷 (※)佐々木靖		
大 仙 市	7月1日	秋田県立 大曲農業高等学校太田分校	生 徒	25	2	(※)碓谷 (※)高橋邦		
	7月24日	日赤大仙市地区太田分区	一 般	18	2	(※)高橋邦、高橋文		
	8月20日	大仙市立 大曲小学校	教 職 員	20	1	(※)碓谷		
	9月6日	秋田県立リハビリテーション 精神医療センター	職 員	9	1.5	(※)長谷川		
	10月6日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	3	1	(※)伊藤一		
北秋田市	8月7日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	1	1	(※)伊藤一		
	9月21日	秋田県 赤十字救急法奉仕団	一 般	9	4	(※)佐藤勇・長内・板倉 (※)糸屋幸・糸屋賢	9	
	9月22日 ～23日	秋田県 赤十字救急法奉仕団	一 般	5	12	(※)碓谷 (※)佐藤勇 (※)長内・糸屋幸 (※)糸屋賢・柴田		5
	10月3日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	3	1	(※)伊藤一		

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資 格 取得者数 (基 礎)	資 格 取得者数 (救急員)
潟 上 市	3 月 3 日	潟上市 介護予防ボランティア	一 般	45	1.5	(ㇿ)碓谷		
にかほ市	5 月 29 日	にかほ市象潟赤十字奉仕団	一 般	16	1	(ㇿ)碓谷		
仙 北 市	5 月 9 日	仙北市立 生保内中学校	生 徒	89	1	(ㇿ)碓谷		
小 坂 町	7 月 24 日	小坂町立 小坂小・中学校	教 職 員	24	1.5	(㊦)佐々木靖・長内		
	12 月 19 日	日赤小坂町分区	一 般	35	1	(㊦)長内・糸屋賢		
八 峰 町	4 月 21 日	秋田県 生活環境部自然保護課	一 般	16	4	(㊦)佐藤勇・竹内 (㊦)糸屋幸・糸屋賢	16	
	4 月 27 日 ～ 28 日	秋田県 生活環境部自然保護課	一 般	16	12	(㊦)佐藤勇・糸屋幸・長内 (㊦)大塚・柴田・梅田 (㊦)竹内		16
	7 月 19 日	八峰町立 八峰中学校	生 徒	25	1	(㊦)佐藤勇・柴田		
八 郎 潟 町	10 月 11 日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	4	1	(㊦)伊藤一		
	3 月 14 日	厚生ビル管理(株)	湖 東 厚 生 院 病 院	1	1	(㊦)伊藤一		
大 潟 村	12 月 18 日	大潟村立 大潟中学校	生 教 職 員 教 職 員	31	1	(ㇿ)碓谷		
美 郷 町	7 月 7 日	秋田県 赤十字救急法奉仕団	一 般	10	4	(㊦)高橋邦・高橋文 高橋里・佐野	10	
	7 月 14 日 ～ 15 日	秋田県 赤十字救急法奉仕団	一 般	12	12	(ㇿ)碓谷 (㊦)高橋邦 (㊦)高橋文・高橋里・佐野 (㊦)高橋佳・藤井		12
羽 後 町	5 月 13 日	ノルディックウォーキング さくらの会	一 般	17	2	(㊦)高橋里		
	7 月 18 日	羽後町立 羽後中学校	生 徒	125	1	(ㇿ)菊地 (㊦)銭谷 (㊦)高橋邦・高橋里 (㊦)土井雅・土井智		
	7 月 18 日	日赤羽後町分区	一 般	15	1	(㊦)高橋里		
	8 月 2 日	湯沢雄勝養護教諭 保健主事部会	一 般	25	2.5	(㊦)銭谷・高橋里		
	10 月 21 日	日赤羽後町分区	一 般	15	2	(㊦)高橋里		
計	166回			5,224	455.0		462	351

※同日、同主催者によって開催されている講習は、対象者が異なる。

※指導員欄の(ㇿ)は支部職員、(㊦)は赤十字病院職員、(㊦)は血液センター職員、(乳)は乳児院職員、(看)は日赤看護大職員、(㊦)はボランティア指導員を表す。

※資格取得者数欄（基礎）は基礎講習（４時間）を修了し、検定の結果「赤十字ベーシックライフサポーター」に合格した者の数を表す。

※資格取得者数欄（救急員）は救急員養成講習（10時間）を修了し「救急員」に合格した者の数を表す。

(2) 指導員研修会の実施

日本赤十字社救急法等講習規則施行細則第8条に基づく指導員研修を、次のとおり実施した。

期 日	4月20日
会 場	秋田県社会福祉会館 2階展示ホール
参加者数	70人
研修内容	・令和5年度講習事業の報告及び令和6年度講習普及等について ・人命救助者表彰受賞の報告について ・支部職員の国際活動事業地出張にかかる報告について ・防災セミナー「家庭内の危険を探そう」について

(3) 講師研修会への参加

期 日	12月17日～18日
会 場	国立オリンピック記念青少年総合センター
参 加 者	秋田赤十字病院 救護課長 竹澤雄基

3 健康生活支援講習

高齢期を迎える前からの健康管理の備え、地域での高齢者支援、高齢者の介護方法を紹介する健康生活支援講習を次のとおり実施した。

(1) 一般普及講習及び短期講習の開催状況

開 催 地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	WEB (回)	指 導 員	資 格 取得者数
秋 田 市	5月9日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	35	3		(※)稲岡	
	5月10日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	34	3		(※)稲岡	
	5月15日	新屋地区社会福祉協議会	奉 仕 団 員 一 般	25	1		(※)伊藤	
	5月16日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	34	3		(※)稲岡	
	5月17日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	34	4		(※)稲岡	
	5月23日	日本赤十字社秋田県支部	奉 仕 団 員 一 般	35	4		(※)稲岡	
	6月4日	八橋女性学級	一 般	20	0.5		(※)高橋	
	6月5日	日本赤十字秋田看護大学 老年看護学領域	一 般	43	2		(※)佐藤	
	6月6日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	34	3		(※)稲岡	
	6月7日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	34	4		(※)稲岡	
	6月14日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	34	4		(※)稲岡	

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	WEB (回)	指 導 員	資 格 取得者数
秋 田 市	6 月20日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	34	1		(仮)稲岡	
	6 月21日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	34	4		(仮)稲岡	
	7 月 8 日 ～ 9 日	日本赤十字秋田短期大学	短 大 生	11	12		(仮)稲岡 (仮)佐藤	11
	7 月23日 ～ 24日	日本赤十字秋田看護大学	大 学 生	33	12		(仮)稲岡 (仮)藤	33
	7 月28日	秋田赤十字病院	一 般	40	2		(仮)遠藤・小松	
	7 月31日 8 月 1 日	日本赤十字秋田看護大学	大 学 生	33	12		(仮)稲岡 (仮)佐藤	33
	8 月20日	秋田市川尻地区保健推進員会	一 般	30	1		(仮)稲岡	
	10月 5 日	秋田市川崎東町内会	一 般	26	1.5		(仮)伊藤	
	1 月11日	秋田長生大学	一 般	45	1.5		(仮)稲岡	
	2 月13日	秋田市南部市民 サービスセンター	一 般	17	1.5		(仮)稲岡	
	2 月13日	株式会社アキタ保険	一 般	13	1.5	1	(仮)稲岡	
	2 月19日	秋田市赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	55	1.5		(仮)稲岡	
	2 月27日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	29	3		(仮)稲岡	
横 手 市	11月 7 日	日赤横手市地区長	奉 仕 団 員	73	1.5		(仮)稲岡	
大 館 市	10月27日	日本赤十字社秋田県支部	一 般	26	1		(仮)稲岡	
男 鹿 市	9 月19日	日赤男鹿市地区	一 般	27	1		(仮)稲岡	
湯 沢 市	7 月18日	湯沢市	一 般	42	1		(仮)稲岡	
	8 月22日	湯沢市	一 般	33	1		(仮)稲岡	
鹿 角 市	9 月14日	鹿角市南自治会	一 般	25	1.5		(仮)稲岡	
由利本荘市	6 月11日	日赤由利本荘市地区矢島分区	奉 仕 団 員 一 般	20	1.5		(仮)稲岡	
	9 月13日	日赤由利本荘市地区由利分区	奉 仕 団 員 (民生児童委員兼務)	32	1.5		(仮)稲岡	
	10月19日	日赤由利本荘市地区西目分区	奉 仕 団 員 一 般	36	1.5		(仮)稲岡	
	11月18日	由利本荘市婦人団体連絡協議会	奉 仕 団 員	62	1.5		(仮)稲岡	
潟 上 市	7 月 7 日	潟上市赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	72	1.5		(仮)稲岡	
大 仙 市	11月21日	日赤大仙市地区仙北分区	奉 仕 団 員 一 般	20	1		(仮)柴田	
	11月27日	日赤大仙市地区西仙北分区	奉 仕 団 員	28	1.5		(仮)稲岡	
	11月28日	日赤大仙市地区長	奉 仕 団 員	50	1		(仮)稲岡	
北秋田市	9 月25日	日赤北秋田市地区阿仁分区	奉 仕 団 員 一 般	72	1		(仮)稲岡	
五城目町	11月19日	大川地区公民館	一 般	20	1		(仮)佐藤	
井 川 町	8 月28日	日赤井川町分区	奉 仕 団 員	32	3		(仮)稲岡	
大 潟 村	7 月18日	日赤大潟村分区	奉 仕 団 員 一 般	27	3		(仮)稲岡	
計	42回			1,459	112	1		77

(2) 災害時高齢者生活支援講習

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員
秋 田 市	5月25日	ボーイスカウト秋田連盟	一 般	30	3	(※)伊藤・渡辺
	5月26日	ボーイスカウト秋田連盟	一 般	15	3	(※)伊藤・渡辺
	7月7日	秋田県母子寡婦福祉連合会	一 般	9	1.5	(※)稲岡
	9月9日	秋田市南部市民サービスセンター	一 般	37	1.5	(※)稲岡
	10月20日	上飯島町内会	一 般	20	1.5	(※)小松
	11月15日	秋田市西部市民サービスセンター	一 般	35	1.5	(※)稲岡
能 代 市	9月10日	能代市赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	132	1.5	(※)稲岡
横 手 市	7月11日	秋田県立衛生看護学院	専 門 学 生	34	3	(※)稲岡
湯 沢 市	10月30日	湯沢市赤十字奉仕団雄勝分団 湯沢市結核予防婦人会雄勝支部	奉 仕 団 員	73	1	(※)稲岡
由利本荘市	9月6日	荒沢交流サロン実行委員会	一 般	17	1.5	(※)白渡
上小阿仁村	6月4日	上小阿仁村赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	37	2	(※)稲岡
三 種 町	10月19日	日赤三種町分区	奉 仕 団 員	15	2	(※)伊藤
計	12回			454	23	

※健康生活支援講習全体で、54回、受講者数1,913人、講習時間135時間であった。

※指導員欄の(※)は支部職員、(※)は赤十字病院職員、(※)は日赤看護大職員、(※)は日赤短大職員、(※)はボランティア指導員を表す。

※資格取得者数欄は支援員養成講習（9時間）を修了し、検定の結果、「支援員」に合格した者の数を表す。

※主催者の希望でオンライン講習の実施。WEB と記入。

(3) 指導員研修会

日本赤十字社救急法等講習規則施行細則第8条に基づく指導員研修を、次のとおり実施した。

- | | |
|------|---|
| 期 日 | 6月15日 |
| 会 場 | 日本赤十字秋田看護大学102・103号室 |
| 参加者数 | 24人 |
| 研修内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康生活支援講習教本改定について ・ 地域包括ケアへの日赤秋田県支部の貢献について <li style="padding-left: 20px;">「フレイル予防サポーター養成講座」について <li style="padding-left: 20px;">「ちいきのつながり隊」について ・ 短期講習について <ul style="list-style-type: none"> ①フレイル予防 ②今後の人生に備えて（人生会議） ③地域で支える認知症 ④避難所生活支援講習 |

4 幼児安全法

子どもの成長・発達を理解し、子どもに起こりやすい事故に対する応急手当の方法と、事故防止、家庭内での看護の方法を指導する幼児安全法の講習を次のとおり実施した。

(1) 一般普及講習及び短期講習の開催状況

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	WEB (回)	指 導 員	資 格 取得者数
秋 田 市	4月2日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	2	1.5		(乳)野呂	
	4月24日	勝平保育園	保 育 士	11	1.5		(※)伊藤・大内	
	4月25日	勝平保育園	保 育 士	14	1.5		(※)碓谷	
	5月24日	中央こども園	保 育 士	10	1		(※)伊藤	
	5月27日	中央こども園	保 育 士	15	1		(※)伊藤	
	6月23日	秋田県健康福祉部 地域・家庭福祉課	一 般	7	0.5	1	(乳)水澤	
	6月26日	秋田駅東保育園	保 育 士	10	1.5		(※)碓谷	
	6月28日	秋田駅東保育園	保 育 士	10	1.5		(※)碓谷	
	7月2日 ～3日	日本赤十字秋田短期大学	短 大 生	3	12		(※)稲岡 (乳)野呂	3
	7月6日	認定こども園 あきたこどもの森	保 育 士	9	1		(※)野中	
	7月10日	あきた保育園	保 育 士	13	1.5		(※)碓谷	
	8月24日 ～25日	日本赤十字社秋田県支部	一 般	9	12		(※)稲岡 (乳)野呂 (※)伊藤・長内	9
	9月4日	はねかわ保育所	保 育 士	7	1		(※)碓谷	
	9月28日	秋田県青少年赤十字 指導者協議会	高 校 生	10	2		(乳)白鳥・(※)伊藤	
	11月3日	秋田県健康福祉部地域 家庭福祉課	一 般	13	0.5		(乳)水澤	
	11月12日	あきた保育園	保 育 士	12	1.5		(※)碓谷	
	12月2日 ～3日	日本赤十字秋田看護大学	大 学 生	49	12		(※)稲岡・碓谷 (大)鈴木・児玉 (乳)伊藤 (※)伊藤	49
	12月5日 ～6日	日本赤十字秋田看護大学	大 学 生	46	12		(※)稲岡・碓谷 (大)鈴木・児玉 (乳)船木 (※)伊藤	46
	11月26日	白百合保育園	保 育 士	16	1.5		(※)碓谷	
	11月27日	白百合保育園	保 育 士	13	1.5		(※)碓谷	
	11月30日	秋田県健康福祉部 地域・家庭福祉課	一 般	3	1		(乳)水澤	
	2月19日	秋田市赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	55	1.5		(※)稲岡・鎌田 (※)碓谷・須藤	
	3月4日	秋田赤十字病院	保 育 士	4	1		(乳)竹澤	
能 代 市	11月30日	能代市きみまち子ども園	保 育 士	30	1		(※)稲岡	
大 館 市	7月4日	大館市立城南保育園	保 育 士	23	1.5		(※)稲岡 (※)糸屋・長内	
北秋田市	6月23日	秋田県健康福祉部 地域・家庭福祉課	一 般	10	0.5	1	(乳)水澤	

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	WEB (回)	指 導 員	資 格 取得者数
仙 北 市	6月12日	仙北市	保 護 者	8	1		(乳)野呂	
	12月11日	仙北市	保 護 者	6	1		(乳)高杉	
横 手 市	6月23日	秋田県健康福祉部	一 般	3	0.5		(乳)水澤	
湯 沢 市	10月30日	学校法人双葉学園	保 育 士	18	1.5		(支)稲岡・碓谷	
大 潟 村	7月25日	日赤大潟村分区	保 育 士	11	1.5		(支)碓谷(※)柴田	
計	31回			450	80.5	2		107

(2) 避難所生活支援講習

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員
秋 田 市	7月25日	秋田市保育協議会保険部会	保 育 士 看 護 師	35	1.5	(支)稲岡 (飼)伊藤 (乳)野呂 (※)長内
	1月17日	秋田県母子福祉協議会	一 般	20	1.5	(※)伊藤
計	2回			55	3	

※幼児安全法全体で、33回、受講者数505人、講習時間83.5時間であった。

※指導員欄の(支)は支部職員、(飼)は赤十字病院職員、(看)は日赤看護大職員 (乳)は赤十字乳児職員、(※)はボランティア指導員を表す。

※資格取得者数欄は支援員養成講習（10時間）を終了し、検定の結果、「支援員」に合格した者の数を表す。

※主催者の希望でオンライン講習の実施。WEB と記入。

(3) 指導員研修会

日本赤十字社救急法等講習規則施行細則第8条に基づく指導員研修を次のとおり実施した。

期 日 5月11日
 会 場 日本赤十字秋田看護大学101・102号室
 参加者数 24人
 研修内容 ・講習普及状況について
 ・乳幼児の一次救命処置
 ・子どもの応急手当

(4) 講師養成講習

期 日 11月13日～15日
 参 加 者 秋田赤十字乳児院 養育一係長 野呂めぐみ

5 水上安全法

水の事故から生命を守るための知識や技術を指導する水上安全法の講習を次のとおり実施した。

(1) 一般普及講習及び短期講習の開催状況

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資 格 取得者数
秋 田 市	7 月 6 日	向浜スポーツゾーン総合事務所	一 般	13	1.5	(※)伊藤三・大塚	
	7 月12日	秋田市立下新城小学校	小 学 生	26	1	(※)高橋、(※)伊藤三	
	7 月19日 ～21日	秋田県赤十字水上安全法奉仕団	一 般	12	14	※別記1のとおり	7
能 代 市	7 月11日	能代市立第四小学校	小 学 生	25	1	(※)佐藤勇・糸屋幸 (※)糸屋賢・秋山里	
	7 月11日	能代市立第四小学校	小 学 生	24	1	(※)佐藤勇・糸屋幸 (※)糸屋賢・秋山里	
	7 月11日	能代市立第四小学校	小 学 生	25	1	(※)佐藤勇・糸屋幸 (※)糸屋賢・秋山里	
	9 月 2 日	能代市立淳城西小学校	小 学 生	48	1	(※)佐藤勇・長内 (※)伊藤三・大塚	
	9 月 6 日	能代市立淳城南小学校	小 学 生	44	1	(※)糸屋幸・糸屋賢 (※)大塚・伊藤三	
	9 月 6 日	能代市立淳城南小学校	小 学 生	47	1	(※)糸屋幸・糸屋賢 (※)大塚・伊藤三	
	9 月 6 日	能代市立淳城南小学校	小 学 生	52	1	(※)糸屋幸・糸屋賢 (※)大塚・伊藤三	
横 手 市	12 月 3 日	秋田県南部老人福祉総合エリア	プ ー ル 職 員	7	1	(※)銭谷	
湯 沢 市	7 月16日	湯沢市立湯沢東小学校	小 教 学 職 生 員	89	1	(※)銭谷	
	7 月17日	湯沢市立湯沢東小学校	小 教 学 職 生 員	76	1	(※)銭谷・伊藤三	
	7 月17日	湯沢市立湯沢西小学校	プ ー ル 監 視 員	30	1	(※)銭谷	
	9 月 6 日	湯沢市立湯沢西小学校	小 教 学 職 生 員	64	1	(※)銭谷	
	9 月 9 日	湯沢市立湯沢西小学校	小 教 学 職 生 員	95	1	(※)銭谷・伊藤三	
	9 月11日	湯沢市立山田小学校	小 学 生	35	1	(※)銭谷	
鹿 角 市	9 月 3 日	鹿角市立十和田小学校	小 学 生	50	1	(※)長内・糸屋幸・糸屋賢	
	9 月 3 日	鹿角市立十和田小学校	小 学 生	38	1	(※)長内・糸屋幸・糸屋賢	
	9 月 3 日	鹿角市立十和田小学校	小 学 生	42	1	(※)長内・糸屋幸・糸屋賢	
	9 月 5 日	鹿角市立大湯小学校	小 学 生	40	1	(※)長内・糸屋幸・糸屋賢	
大 仙 市	9 月 5 日	大仙市立南外中学校	中 学 生	39	1	(※)伊藤衣、(※)伊藤三	
北秋田市	7 月13日	北秋田市教育委員会 日赤北秋田市地区	プ ー ル 監 視 員	27	2	(※)糸屋賢・長内	
	7 月13日	秋田県赤十字水上安全法奉仕団	一 般	2	2	(※)糸屋幸・糸屋賢	
小 坂 町	6 月 5 日	小坂町教育委員会	教 プ ー ル 監 視 員	15	1.5	(※)長内	
	7 月 6 日	十和田市民センター	小 学 生	20	1	(※)長内	
	7 月 6 日	十和田市民センター	小 学 生	20	1	(※)長内	

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資 格 取得者数
小 坂 町	7 月 8 日	小坂マリア園	幼 児	15	1	(※)長内	
	7 月17日	小坂マリア園	幼 児	15	1	(※)長内	
	7 月29日	小坂マリア園	幼 児	15	1	(※)長内	
	7 月30日	小坂町教育委員会	小 学 生	25	1	(※)長内	
	7 月30日	小坂町教育委員会	小 学 生	25	1	(※)長内	
	7 月31日	小坂町教育委員会	小 学 生	25	1	(※)長内	
	7 月31日	小坂町教育委員会	小 学 生	25	1	(※)長内	
	8 月 1 日	小坂町教育委員会	小 学 生	25	1	(※)長内	
	8 月 1 日	小坂町教育委員会	小 学 生	25	1	(※)長内	
	8 月 3 日	十和田市民センター	小 学 生	20	1	(※)長内	
	8 月 3 日	十和田市民センター	小 学 生	20	1	(※)長内	
三 種 町	7 月16日	三種町立森岳小学校	小 学 生	34	1	(※)糸屋幸・糸屋賢 (※)伊藤三・大塚	
	7 月16日	三種町立森岳小学校	小 学 生	21	1	(※)糸屋幸・糸屋賢 (※)伊藤三・大塚	
	9 月 4 日	三種町立琴丘小学校	小 学 生	31	1	(※)佐藤勇・伊藤三・大塚	
	9 月 4 日	三種町立琴丘小学校	小 学 生	17	1	(※)佐藤勇・伊藤三・大塚	
八 峰 町	7 月18日	八峰町立八森小学校	小 学 生	36	1	(※)佐藤勇・大塚・秋山里	
	7 月18日	八峰町立八森小学校	小 学 生	32	1	(※)佐藤勇・大塚・秋山里	
大 潟 村	6 月28日	日赤大潟村分区	プ ール監視員	15	1.5	(※)長内	
計	45回			1,426	61.5		7

※指導員欄の(支)は支部職員、(病)は赤十字病院職員、(※)はボランティア指導員を表す。

※資格取得者数欄は救助員養成講習（14時間）を修了し、検定の結果「救助員」に 合格した者の数を表す。

※同日、同主催者によって開催されている講習は、対象者が異なる。

※別記 1 (病)伊藤衣 (支)畠山邦・佐藤勇・三森・銭谷・小柳・糸屋幸・糸屋賢・今井・長内
(支)大塚・佐々木恵・秋山克・秋山里・伊藤三

(2) 指導員研修会の実施

日本赤十字社救急法等講習規則施行細則第 8 条に基づく指導員研修を次のとおり実施した。

期 日 4 月20日

会 場 秋田県社会福祉会館 2 階展示ホール

参加者数 20人

研修内容

- ・令和 5 年度講習事業の報告及び令和 6 年度講習普及等について
- ・支部職員の国際活動事業地出張にかかる報告について
- ・水上安全法救助員養成講習にかかる内容の検討について

(3) 技術研修会の実施

期 日 6月2日
会 場 秋田県立総合プール ダイビングプール
参加者数 12人
研修内容 救助員養成講習における日程・実技の確認について

(4) 講師研修会への参加

期 日 2月4日～5日
会 場 BumB 東京スポーツ文化館
参 加 者 秋田赤十字病院 救護課長 竹澤雄基

(5) 指導員Ⅰ養成講習会の実施

期 日 3月8日～9日・15日～16日
会 場 秋田県立総合プール
参加者数 4人（うち日赤秋田県支部職員 1人）

6. 雪上安全法

スキーなどを安全に行うための応急手当を含めた具体的な知識や技術を指導する雪上安全法の講習を次のとおり実施した。

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資 格 取得者数
秋 田 市	2月23日	日赤秋田看護大学・短期大学 赤十字教育委員会 赤十字防災ボランティアステーション	大 学 生 短 大 生	23	7	(病)竹澤	23
計	1回			23	7		23

※指導員欄の(病)は赤十字病院職員を表す。

※資格取得者数欄は救助員養成講習（7時間）を修了し、検定の結果「救助員」に合格した者の数を表す。

7 救急法等指導員登録状況

（令和7年3月31日現在）

講 習 別	人 数 （人）		
	職員指導員	ボランティア指導員	計
救 急 法	31	39	70
健 康 生 活 支 援 講 習	19	10	29
水 上 安 全 法	5	18	23
幼 児 安 全 法	17	13	30
雪 上 安 全 法	1	0	1
防 災 セ ミ ナ ー	18	43	61
計	91	123	214

8 赤十字奉仕団等

1 組織状況

(令和7年3月31日現在)

奉仕団名		団数(団)	団員数(人)		
			男	女	計
地域奉仕団		53	1,103	9,840	10,943
特別奉仕団	青年奉仕団	6	19	62	81
	秋田県点訳赤十字奉仕団	1	0	3	3
	秋田県赤十字芸能奉仕団	1	9	55	64
	秋田県アマチュア無線赤十字奉仕団	1	24	2	26
	秋田県赤十字水上安全法奉仕団	1	13	5	18
	秋田県赤十字救急法奉仕団	1	23	16	39
	秋田県赤十字災害救護奉仕団	1	4	4	8
	秋田県青少年赤十字賛助奉仕団	1	79	18	97
特殊奉仕団 計		7	152	103	255
合 計		66	1,274	10,005	11,279

(1) 地域奉仕団

(令和7年3月31日現在)

奉仕団名	結成年月日	委員長氏名	分団数 (団)	班 数 (班)	団員数(人)		
					男	女	計
秋田市赤十字奉仕団	S23.11.20	佐竹睦子	12	0	0	200	200
秋田市雄和赤十字奉仕団	S32.03.26	鈴木一枝	0	0	0	41	41
能代市赤十字奉仕団	S34.04.01	檜森幸子	19	71	8	292	300
能代市二ツ井町赤十字奉仕団	S44.07.05	齊藤正子	7	0	7	300	307
横手市赤十字奉仕団	S45.04.01	嶋田陽子	5	25	6	1,312	1,318
大館市大館赤十字奉仕団	S33.09.17	佐藤明子	10	0	0	1,350	1,350
大館市比内赤十字奉仕団	S35.06.24	北村百合子	4	4	0	496	496
大館市田代赤十字奉仕団	S36.06.01	佐藤かよ子	7	0	0	110	110
男鹿市赤十字奉仕団	S40.04.01	吉田萬里子	7	14	0	320	320
湯沢市赤十字奉仕団	S29.04.01	北村ルミ子	4	0	0	231	231
鹿角市赤十字奉仕団	S27.06.01	戸澤久美子	0	0	0	8	8
由利本荘市本荘赤十字奉仕団	S37.04.01	林悦子	0	0	0	31	31
由利本荘市岩城赤十字奉仕団	S48.04.01	鈴木とみ子	2	2	0	140	140
由利本荘市大内赤十字奉仕団	S48.12.01	布施隆子	0	0	0	8	8
由利本荘市東由利赤十字奉仕団	S38.04.25	阿部タツ子	6	0	0	33	33
由利本荘市鳥海赤十字奉仕団	S33.05.31	小松こず江	3	0	0	66	66
由利本荘市矢島赤十字奉仕団	S33.06.18	土田典子	1	0	0	40	40

奉 仕 団 名	結成年月日	委 員 長 氏 名	分団数 (団)	班 数 (班)	団 員 数 (人)		
					男	女	計
由利本荘市由利赤十字奉仕団	S32.04.01	佐 藤 美保子	0	0	11	15	26
由利本荘市西目赤十字奉仕団	S45.10.01	潟 保 博 子	0	0	0	24	24
潟 上 市 赤 十 字 奉 仕 団	H17.03.22	こだま 祥 子	0	0	0	356	356
大仙市大曲赤十字奉仕団	S43.04.01	高 橋 要	0	0	54	40	94
大仙市仙北赤十字奉仕団	S33.05.15	佐 藤 あや子	1	63	4	132	136
大仙市中仙赤十字奉仕団	S30.03.31	高 橋 トモ子	5	0	0	309	309
大仙市太田赤十字奉仕団	S30.03.30	高 橋 千恵子	3	0	3	73	76
大仙市西仙北赤十字奉仕団	S37.04.01	寺 田 要 子	9	179	29	133	162
大仙市神岡赤十字奉仕団	S34.04.01	木 村 孝 臣	0	0	38	9	47
大仙市協和赤十字奉仕団	S33.08.02	大 嶋 弘 子	1	0	6	116	122
大仙市南外赤十字奉仕団	S45.04.01	高 橋 妊 子	1	45	24	58	82
北秋田市鷹巣赤十字奉仕団	S26.05.01	三 澤 甲 江	7	0	0	554	554
北秋田市森吉赤十字奉仕団	S37.04.01	松 橋 セツ子	24	24	0	305	305
北秋田市阿仁赤十字奉仕団	S33.12.02	伊 東 由美子	13	0	0	162	162
北秋田市合川赤十字奉仕団	S30.04.01	福 岡 史 恵	10	61	0	156	156
にかほ市金浦赤十字奉仕団	S62.06.02	白 瀬 美弥子	0	0	0	18	18
にかほ市仁賀保赤十字奉仕団	S62.11.27	村 上 和 美	0	0	0	55	55
にかほ市象潟赤十字奉仕団	S53.06.01	阿 曾 綾 子	0	0	0	16	16
仙北市角館町赤十字奉仕団	S32.04.01	赤 川 和 子	4	169	58	111	169
仙北市田沢湖赤十字奉仕団	S33.04.01	佐 藤 リ ヨ	3	0	42	81	123
仙北市西木町赤十字奉仕団	S33.04.25	門 脇 トキヨ	1	81	0	32	32
小 坂 町 赤 十 字 奉 仕 団	S32.04.01	小笠原 シゲ子	1	4	2	12	14
上小阿仁村赤十字奉仕団	S23.04.01	伊 藤 明 美	16	0	0	297	297
藤 里 町 赤 十 字 奉 仕 団	S23.04.01	淡 路 高 江	0	0	0	200	200
三種町琴丘赤十字奉仕団	S55.03.23	鎌 田 まさ子	0	0	20	112	132
三種町山本赤十字奉仕団	S52.03.14	近 藤 きぬ子	1	105	24	98	122
三種町八竜赤十字奉仕団	S34.04.01	堀 田 キミ子	0	0	0	46	46
八峰町八森赤十字奉仕団	S48.05.01	高 崎 修 子	0	0	0	88	88
八峰町峰浜赤十字奉仕団	S43.04.01	森 田 葉 子	0	16	0	45	45
五城目町赤十字奉仕団	S23.04.26	澤田石 美恵子	3	3	0	55	55
八郎潟町赤十字奉仕団	S45.07.01	佐 藤 操	0	0	0	40	40
井 川 町 赤 十 字 奉 仕 団	S30.02.01	湊 文 子	17	0	0	226	226
大 潟 村 赤 十 字 奉 仕 団	S44.11.01	土 田 里 美	1	5	0	28	28
美 郷 町 赤 十 字 奉 仕 団	H16.11.01	森 元 博 美	3	135	127	252	379
羽 後 町 赤 十 字 奉 仕 団	S33.09.01	村 上 與 子	7	65	340	288	628
東成瀬村赤十字奉仕団	S33.07.30	鈴 木 キミコ	16	0	300	320	620
計	53 団		234	1,071	1,103	9,840	10,943

(2) 青年赤十字奉仕団

(令和7年3月31日現在)

奉仕団名	結成年月日	委員長氏名	副委員長氏名	団員数(人)		
				男	女	計
秋田県青年赤十字奉仕団	S38.04.01	三浦泰輔	佐々木恵子	8	11	19
日赤秋田看護大・短大学生赤十字奉仕団	H08.11.29	伊藤采音	三浦英登	1	39	40
ノースアジア大学厚生委員会学生赤十字奉仕団	H13.04.26	鎌田翔	柳澤莓花	1	2	3
秋田県立大学学生赤十字奉仕団	H18.06.01	三村保翔	戸毛穂乃美	2	4	6
秋田大学学生赤十字奉仕団	H27.04.26	草薨理天	田口聖大	3	1	4
国際教養大学学生赤十字奉仕団	R03.12.03	天野友樹	塚田桜妃	4	5	9
計		6 団		19	62	81

(3) 特殊赤十字奉仕団

(令和7年3月31日現在)

奉仕団名	結成年月日	委員長氏名	副委員長氏名	団員数(人)		
				男	女	計
秋田県点訳赤十字奉仕団	S41.11.01	吉田圭子	鈴木敦子	0	3	3
秋田県赤十字芸能奉仕団	S42.05.04	中村久夫	石塚喜奈子 田中啓子	9	55	64
秋田県アマチュア無線赤十字奉仕団	S46.12.19	石川和男	小林康司	24	2	26
秋田県赤十字水上安全法奉仕団	S53.06.10	三森幹男	銭谷郁雄 大塚貴代	13	5	18
秋田県赤十字救急法奉仕団	S60.06.28	田口昇	佐々木清志 長内昭継 竹内健司	23	16	39
秋田県赤十字災害救護奉仕団	H11.08.28	八代千春	高橋邦明 松渕孝志	4	4	8
秋田県青少年赤十字賛助奉仕団	H15.04.01	欠	柴田正臣 伊藤勲夫 佐藤朋夫	79	18	97
計		7 団		152	103	255

2 会議・研修会等

(1) 赤十字奉仕団秋田県支部委員会

期 日 4月17日
会 場 秋田県社会福祉会館 9 階第 3 会議室
参 加 者 地域奉仕団 13人
特殊奉仕団 4人
内 容 役員改選
奉仕団活動報告

(2) 赤十字奉仕団委員長会議

期 日 4月17日
会 場 秋田県社会福祉会館10階大会議室
参 加 者 地域奉仕団 41人
特殊奉仕団 3人
内 容 赤十字奉仕団秋田県支部委員会報告
令和5年度事業概要
令和6年度事業計画
地域包括ケアシステムへの貢献について
「フレイル予防サポーター活動」を実施して感じたこと
北秋田市森吉赤十字奉仕団委員長
松 橋 セツ子
グループワーク

(3) 地域包括ケア事業担当者会議（第1回）オンライン形式

期 日 5月28日
会 場 日赤秋田県支部 研修室
参 加 者 日赤秋田県支部職員 稲 岡 一 枝

(4) 赤十字奉仕団中央委員会

期 日 5月30日～31日
会 場 日本赤十字社
参 加 者 齊 藤 正 子

(5) 赤十字奉仕団支部指導講師会議（第1回）

期 日 6月25日
主 催 者 日赤秋田県支部
会 場 日赤秋田県支部 研修室
参 加 者 支部指導講師 7人（オンライン参加1人）
日赤秋田県支部職員 4人
内 容 令和5年度の活動報告
令和6年度の活動について協議

(6) 赤十字奉仕団担当者会議 オンライン形式

期 日 7月5日
会 場 日赤秋田県支部 研修室
参 加 者 日赤秋田県支部職員 稲岡一枝

(7) 赤十字奉仕団リーダーシップ研修会

期 日 10月22日～23日
会 場 秋田温泉 さとみ
参 加 者 地域奉仕団 秋田県支部 64人
地域奉仕団 岩手県支部 5人
特別奉仕団 3人
支部委員会 5人
支部指導講師 3人
日本赤十字社本社 2人
日赤岩手県支部職員 1人
日赤秋田県支部職員 6人
内 容 地域包括ケアシステムへの貢献について
能代市二ツ井町赤十字奉仕団 齊 藤 正 子
秋田市赤十字奉仕団 佐 竹 睦 子
仙北市角館町赤十字奉仕団 赤 川 和 子
日赤秋田県支部職員 稲 岡 一 枝

ギャラリートークの説明

日赤秋田県支部指導講師 糸 屋 賢

赤十字奉仕団活動報告

由利本荘市西目赤十字奉仕団 潟 保 博 子

美郷町赤十字奉仕団 森 元 博 美

大船渡市赤十字奉仕団 中 村 和 司

グループディスカッション

ファシリテーター 支部指導講師 糸 屋 賢

協議したテーマ

① 防災・減災：「いのちをまもるボックス」の普及活用を進めるにはどうすればよいか

② 社会活動（講習・地域包括ケア）：「フレイル予防」を進めるにはどうすればよいか

アトラクション 秋田県赤十字芸能奉仕団 6人

(8) 赤十字奉仕団支部指導講師会議（第2回）

期 日 11月20日

主 催 者 日赤秋田県支部

会 場 支部指導講師 5人

日赤秋田県支部職員 4人

内 容 令和6年度の活動報告
令和7年度の活動について協議

(9) 赤十字奉仕団秋田県支部委員会正副委員長会議（文書審議）

期 日 2月14日

3 活動状況等

(1) 地域奉仕団

ア 市地区並びに町村分区ごとに組織している地域奉仕団はそれぞれの地域のニーズに応じて、主として次の事業に奉仕した。

- ・ 赤十字会員増強運動並びに活動資金収納に関する奉仕
- ・ 献血推進事業に関する奉仕
- ・ 災害救護業務に関する奉仕
- ・ 社会福祉施設への訪問
- ・ 地域高齢者支援に関する奉仕
- ・ その他社会福祉に関する奉仕
- ・ その他

イ 奉仕団活動の情報共有に役立てていただきたく、各地域における活動を当支部ホームページに紹介した。

奉仕団名	ホームページタイトル
秋 田 県 赤 十 字 奉 仕 団 (地 域 ・ 特 殊)	令和 6 年度赤十字奉仕団委員長・日赤地区分区事務担当者会議を実施
仙北市角館町赤十字奉仕団	さくらの町の案内人
秋 田 市 赤 十 字 奉 仕 団	赤十字キッズタウン2024 158枚のハートラちゃんワッペンができました！ 秋田北高校 JRC 部の協力もいただきました
能代市二ツ井町赤十字奉仕団	防災グッズ「いのちを守るボックス」作成
花巻市花巻地区赤十字奉仕団 & 秋 田 市 赤 十 字 奉 仕 団	花巻市花巻地区赤十字奉仕団&秋田市赤十字奉仕団交流会 ～知る、学ぶ、まねる、ちょっとアレンジ～
能代市二ツ井町赤十字奉仕団	秋田赤十字乳児院で「自分達の特技をいかした」奉仕活動を実施！
令和 6 年度日赤秋田県支部指導講師会議を実施しました！	
仙北市角館町赤十字奉仕団	日本赤十字社秋田県支部評議員会で「健康生活支援講習の学びを生かした和（のどか）さろんの活動について」報告しました。
八 峰 町 峰 浜 赤 十 字 奉 仕 団	窓からの景観整備「花壇の草取りと花の植栽」
由利本荘市西目赤十字奉仕団	赤十字奉仕団研修会を開催 ～新制奉仕団として思いを新たに活動開始！～
秋 田 市 赤 十 字 奉 仕 団	秋田赤十字病院にフットウォーマー、湯たんぽ用カバーを寄贈しました。
地域包括ケアへの貢献事業「ちいきつながり隊！」の実施奉仕団 決定！	

奉仕団名	ホームページタイトル
由利本荘市西目赤十字奉仕団	令和6年度 由利本荘市総合防災訓練 ～非常炊き出し訓練に参加～
北秋田市阿仁赤十字奉仕団	地域包括ケア貢献事業「ちいきつながり隊！」研修会実施
三 種 町 奉 仕 団	町民際で赤十字時活動アピール！
秋 田 県 赤 十 字 奉 仕 団 岩 手 県 赤 十 字 奉 仕 団	令和6年度赤十字奉仕団リーダーシップ研修会を実施 今年度は、「知る→学ぶ→まねる→ちょっとアレンジ」を研修テーマに元気に熱心に参加！
湯沢市赤十字奉仕団雄勝分団	「ちいきつながり隊！活動」で、「避難所生活支援講習」を実施。受講後の感想です。
能代市二ツ井町赤十字奉仕団	秋田赤十字乳児院で奉仕活動！ ～少し早いクリスマスプレゼント！～
八 峰 町 峰 浜 赤 十 字 奉 仕 団	八峰町峰浜赤十字奉仕団研修・交流会で「フレイル予防サポーター」が活動開始！
由利本荘市西目赤十字奉仕団	赤十字防災セミナーを開催
第2回支部指導講師会議を実施しました。	
北秋田市森吉赤十字奉仕団	フレイル予防調理実習
	私のいのちを守る BOX 作り
北秋田市合川赤十字奉仕団	日赤北秋田地区合川奉仕団移動研修
八 峰 町 峰 浜 赤 十 字 奉 仕 団	出張「にこにこサロン」
大 仙 市 赤 十 字 奉 仕 団	大船渡市・大仙市赤十字奉仕団交流研修会
大 潟 村 赤 十 字 奉 仕 団	ふれあい交流会
秋 田 市 赤 十 字 奉 仕 団	赤十字講習（健康生活支援講習・救急法・幼児安全法）から「事故の予防と手当」を実施しました。
上小阿仁村赤十字奉仕団	特別養護老人ホームでの美化ボランティア
	ショートステイ施設での奉仕活動
30回	

ウ 地域包括ケアシステムへの貢献の推進

- ・「フレイル予防サポーター養成講座」を開催し、フレイル予防に関する取り組みを地域に広める活動を行う。
- ・「フレイル予防サポーター」の活動支援
- ・地域に根差した活動「ちいきつながり隊！」への財政支援

「フレイル予防サポーター養成講座」の実施

No.	地 域	日 時	会 場	受講者数	講 師
1	大潟村	7月18日	大潟村ふれあい健康館	27	秋田県庁 秋田赤十字病院 秋田赤十字病院 日赤秋田県支部 田代 真康 児玉 美美子 坂本 和寛 稲岡 一枝
2	井川町	8月28日	井川町健康センターホール	32	秋田県庁 秋田赤十字病院 秋田赤十字病院 日赤秋田県支部 田代 真康 千葉 紘子 村井 純 稲岡 一枝
2 回				59人	

フレイル予防サポーター活動（健康生活支援講習指導員派遣し活動支援）

No.	日時	奉仕団名	会場	受講者数	フレイル予防サポーター
1	① 9月14日 ② 10月20日 ③ 11月24日 ④ 12月15日	鹿角市 赤十字奉仕団	鹿角市 南自治会館	① 25人 ② 7人 ③ 7人 ④ 11人	長内 昭継（県支部指導講師） ① フレイルの予防 ② 高齢者の事故予防 ヒートショック ③ 災害時に役立つ知識 ④ フレイル予防 ※健康生活支援講習 指導員 稲岡 一枝は①に参加
2	11月1日	北秋田市森吉 赤十字奉仕団	北秋田市森吉 保健センター	25	北秋田市森吉赤十字奉仕団が 保健センターの管理栄養士の 指導で調理実習 地元の運動グループと合同で 活動
3	11月5日	北秋田市森吉 赤十字奉仕団	森吉公民館	57	私のいのちを守る BOX 作り。
4	11月21日	大仙市仙北 赤十字奉仕団	史跡の里 交流プラザ 「柵の湯」	25	大仙市仙北奉仕団 4人がフレイル予防の運動等 の紹介。 ※健康生活支援講習 指導員 柴田 圭子
4カ所				157人	

地域に根差した活動「ちいきつながり隊！」の実施

No.	日 時	奉仕団名	会 場	受講者数	内 容
1	9月1日	美郷町 赤十字奉仕団	美郷町 住民活動センター	62	防災体験教室 炊出し 防災士による講話 防災グッズ作り
2	9月25日	北秋田市阿仁 赤十字奉仕団	阿仁 ふるさと文化 ふるさとセンター	72	老人クラブの皆さんを研修会 に招待 赤十字健康生活支援講習 「フレイル予防」 北秋田署員による 「特殊サギ講話」
3	10月19日	由利本荘市西目 赤十字奉仕団	西目公民館」 「シーガル」	43	地域住民への 防災セミナーの実施 「非常炊き出し」 赤十字健康生活支援講習 「フレイル予防」
4	10月30日	湯沢市 赤十字奉仕団 雄勝分団	秋の宮山荘	73	研修会開催 防災の広報活動 赤十字健康生活支援講習 「避難所生活支援講習」
5	10月17日 11月24日	八峰町峰浜 赤十字奉仕団	畑谷地区公民館 峰浜地区 文化交流センター 「峰栄館」	15 20	地域でのサロン開催 フレイル予防サポーターによ る「フレイル予防講座」を実 施
285人					

「地域包括ケアシステム」への貢献の様子を当支部ホームページに紹介した。

ホームページタイトル

- ① 令和6年度「フレイル予防サポーター養成講座」大潟村からスタートしました。
- ② 「フレイル予防サポーター養成講座」2回目は、井川町で実施しました。

エ その他特徴ある活動

(1) 第66回秋田市赤十字奉仕団総会

期 日 4月19日

会 場 秋田県社会福祉会館 10階大会議室

参 加 者 奉仕団員 83人

内 容 講演 アンリーデュナンの像に献花

励ましの言葉・メッセージ

秋田市地区長

日赤秋田県支部事務局長

秋田赤十字病院院長

血液センター所長

講演 「災害対応」～この一年を振り返って～

日赤秋田県支部事業推進課長 菊地 雄大

(2) 第53回赤十字奉仕団秋田県北地区大会

期 日 5月11日

会 場 北秋田市民ふれあいプラザ コムコム

参加者 奉仕団員 100人

講演 「災害への備え」

日赤秋田県支部事業推進課長 菊地 雄大

(3) 赤十字キッズタウン2024

期 日 5月26日

会 場 秋田赤十字看護大学・短期大学

参加者 秋田市赤十字奉仕団 15人

秋田北高校JRC部 8人

内 容 ハートラちゃんワッペン作り 158枚

ハートラちゃんの説明

(4) 花巻地区赤十字奉仕団と秋田市赤十字奉仕団交流会

期 日 6月12日

会 場 秋田赤十字看護大学・短期大学

参加者 花巻地区赤十字奉仕団 31人

秋田市赤十字奉仕団 12人

日赤秋田県支部職員 4人

内 容 活動報告

花巻地区赤十字奉仕団の取り組みについて

花巻地区赤十字奉仕団副委員長 安部 たか子

大雨災害の支援活動について

秋田市赤十字奉仕団委員長 佐竹 睦子

奉仕団交流会

ハートラちゃんワッペン作り 158枚
日本赤十字社秋田看護大学見学

(5) 秋田赤十字乳児院における奉仕活動

期 日 6月17日
会 場 秋田赤十字乳児院
参 加 者 能代市二ツ井町赤十字奉仕団 14人
日赤秋田県支部職員 1人
内 容 子どもたちのヘアカット
絵本の読み聞かせ
窓ふき

期 日 11月12日
会 場 秋田赤十字乳児院
参 加 者 能代市二ツ井町赤十字奉仕団 14人
日赤秋田県支部職員 1人
内 容 子どもたちのヘアカット
絵本の読み聞かせ
おもちゃ・ベッド等の消毒・清掃

(6) 日本赤十字秋田看護大学・短期大学の見学

期 日 6月26日
会 場 日本赤十字秋田看護大学・短期大学
参 加 者 にかほ市仁賀保赤十字奉仕団 15人
日赤秋田県支部職員 1人

(7) 秋田市赤十字奉仕団 災害まるとシュミレーションに参加し、避難所生活支援講習を紹介

期 日 9月1日
会 場 遊学舎
参 加 者 秋田市赤十字奉仕団 47人
日赤秋田県支部職員 稲岡 一枝

受 講 者 208人

(8) 能代市・八峰町赤十字奉仕団交流研修会

期 日 9月10日

会 場 湯らくの宿のしろ

参 加 者 能代市赤十字奉仕団 46人

能代市二ツ井町赤十字奉仕団 50人

八峰町八森赤十字奉仕団 18人

八峰町峰浜赤十字奉仕団 13人

日赤地区分区担当者 4人

赤十字奉仕団支部指導講師 1人

日赤秋田県支部職員 1人

内 容 「災害時高齢者生活支援講習」

日赤秋田県支部参事 稲岡 一枝

「芸能鑑賞」

秋田県赤十字芸能奉仕団 中村 久夫ほか

「交流レクリエーション」

日本レクリエーション協会公認

インストラクター 伊藤 睦子

(9) 日本赤十字秋田看護大学・短期大学等の見学

期 日 6月26日

会 場 日本赤十字秋田看護大学・短期大学

参 加 者 にかほ市仁賀保赤十字奉仕団 16人

日赤秋田県支部職員 1人

期 日 10月11日

会 場 日本赤十字秋田看護大学・短期大学

参 加 者 由利本荘市由利赤十字奉仕団 22人

分区担当者 1人

日赤秋田県支部職員 1人

期 日 11月 5 日

会 場 日本赤十字秋田看護大学・短期大学
秋田赤十字病院ドクターヘリ格納庫

参 加 者 北秋田市合川赤十字奉仕団 30人
分区担当者 1 人
日赤秋田県支部職員 1 人

講 演 「令和 5 年度秋田県大雨災害」の救護活動報告
日赤秋田県支部事業推進課長 菊地 雄大

(10) 防災セミナー

期 日 11月 6 日

会 場 森吉コミュニティセンター

参 加 者 北秋田市森吉赤十字奉仕団 55人
森吉地区自治会長 1 人
日赤秋田県支部職員 1 人
日本赤十字社防災教育指導者 1 人

講 演 「災害への備え」(地震・津波編)
日赤秋田県支部事業推進課長 菊地 雄大
ワークショップ「家庭内の危険を探そう」
日本赤十字社防災教育指導者 糸屋 幸
「いのちをまもるボックス」作成

(11) 日赤大仙市地区奉仕団と大船渡市赤十字奉仕団交流研修会

期 日 11月28日

会 場 仙北ふれあい文化センター

参 加 者 日赤大仙市地区奉仕団 32人
大船渡市赤十字奉仕団 8 人
日赤地区分区担当者 9 人
日赤秋田県支部職員 2 人

内 容 健康生活支援講習「フレイル予防」
各地区奉仕団による活動報告

(12) 秋田市赤十字奉仕団研修会

高齢者に多い事故の予防と手当

身近なものをもちいた応急手当

「健康生活支援講習・幼児安全法・救急法を学ぶ

期 日 2月19日

会 場 秋田県社会福祉会館

参 加 者 秋田市赤十字奉仕団 55人

日赤秋田県支部職員 5人

内 容 高齢者に多い事故とその手当

風呂敷・バンダナ等を用いた応急手当

福祉用具の紹介

(2) 青年奉仕団

勤労青年や大学生等によって組織している青年奉仕団の活動内容は、次のとおりである。

ア 青年奉仕団全国協議会への参加

期 日 1月18日

会 場 Web 会議

出 席 者 1人

イ 第1ブロック協議会への参加

期 日 6月15日

会 場 秋田県社会福祉会館

出 席 者 5人

ウ 第1ブロック統一キャンペーンへの参加

期 日 2月22日～23日

会 場 日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学

出 席 者 6人

エ 青年奉仕団ボランティア基礎研修会への参加

期 日 10月19日

会 場 日赤秋田県支部 研修室

出 席 者 8 人

オ その他

・献血への呼びかけ活動

(3) 特殊奉仕団

1) 点訳奉仕団

点訳技術の取得者によって組織している点訳奉仕団の活動内容は、次のとおりである。

ア 赤十字奉仕団委員長会議への参加

期 日 4 月17日

会 場 秋田県社会福祉会館

参 加 者 委員長 吉田 圭子

イ 赤十字秋田の点訳

日赤秋田県支部が発行する広報誌「赤十字秋田」を点訳、音声訳、弱視の方のためには拡大複写し、秋田県視覚障害者福祉協会を通じて配布した。(1回発行)

ウ 随時依頼のあったものの点訳

エ 秋田県視覚障害者福祉協会による点字触読講習会の補佐

2) 芸能奉仕団

県内在住の芸能人等によって組織している芸能奉仕団の活動内容は、次のとおりである。

ア 赤十字奉仕団委員長会議への参加

期 日 4 月13日

会 場 秋田県社会福祉会館

参 加 者 委員長 小野 敏実都

イ 仙北市角館赤十字奉仕団総会アトラクション

期 日 7月7日
会 場 グランデールガーデン
奉仕人員 11人

ウ 赤十字奉仕団リーダーシップ研修会アトラクション

期 日 10月27日
会 場 秋田温泉さとみ
奉仕人員 7人

エ 上小阿仁村沖田面集落大交流会アトラクション

期 日 11月8日
会 場 沖田面公民館
奉仕人員 20人

オ 男鹿市社会福祉大会アトラクション

期 日 2月23日
会 場 男鹿市文化会館
奉仕人員 9人

3) アマチュア無線奉仕団

災害時、有線及び携帯による通信が途絶えたとき、アマチュア無線の持つ機動性を活かして奉仕するため、有資格者によって組織しているアマチュア無線奉仕団の活動内容は次のとおりである。

ア 団員相互の通信訓練（感度交換）を随時実施した。

イ 他支部のアマチュア無線奉仕団員との通信訓練（感度交換）を以下のとおり実施した。

期 日	時 間	通 信 先 奉 仕 団
6 月15日	10:30～11:30	和歌山県赤十字特別救護奉仕団
6 月16日	9:00～11:30	石巻市地区アマチュア無線クラブ赤十字奉仕団
6 月16日	9:00～11:30	東松島市アマチュア無線クラブ
7 月20日	9:00～11:00	北海道無線赤十字奉仕団協議会
7 月21日	10:00～12:00	日本赤十字社栃木県支部アマチュア無線奉仕団
8 月25日	10:00～12:00	鳥取アマチュア無線赤十字奉仕団
8 月25日	10:00～12:00	倉吉アマチュア無線赤十字奉仕団
8 月25日	10:00～12:00	米子アマチュア無線赤十字奉仕団
8 月25日	10:00～12:00	日本赤十字社鳥取県支部
9 月 1 日	9:00～11:00	日本赤十字社栃木県支部アマチュア無線奉仕団
10月 6 日	9:30～11:30	群馬県無線赤十字奉仕団
10月 9 日	10:00～12:00	山梨県無線赤十字奉仕団
11月 2 日	9:00～11:30	石巻市地区アマチュア無線クラブ赤十字奉仕団
11月10日	9:30～12:00	東京都特殊救護赤十字奉仕団
計		14回・10日

4) 水上安全法奉仕団

ア 奉仕団主催講習会の実施

支部と連携し、講習会に指導員を派遣した。

救助員Ⅰ養成講習

期 日 7 月19日～21日

会 場 秋田県立総合プール

受 講 者 12人

イ 赤十字奉仕団委員長会議への参加

期 日 4 月17日

会 場 秋田県社会福祉会館

参 加 者 委員長 三森 幹男

ウ 総会の実施

期 日 4月20日
会 場 日赤秋田県支部 研修室
参 加 者 14人

エ 役員会の実施

期 日 3月2日
会 場 日赤秋田県支部 研修室
参 加 者 7人

オ その他

小学生に対する着衣泳指導によるボランティア活動

5) 救急法奉仕団

ア 奉仕団主催講習会の実施

支部と連携し、各種講習会に指導員を派遣するほか、奉仕団で主催し、講習会を企画した。

○県北地区

期 日 9月21日
会 場 北秋田市民ふれあいプラザ コムコム
内 容 基礎講習
受 講 者 9人

期 日 9月22日～23日
会 場 北秋田市民ふれあいプラザ コムコム
内 容 救急員養成講習
受 講 者 5人

期 日 11月2日
会 場 能代ふれあいプラザ・サンピノ
内 容 基礎講習

受講者 5人

期 日 11月3日～4日

会 場 能代ふれあいプラザ・サンピノ

内 容 救急員養成講習

受講者 5人

○中央地区

期 日 12月7日

会 場 日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学

内 容 基礎講習

受講者 24人

期 日 12月14日～15日

会 場 日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学

内 容 救急員養成講習

受講者 14人

○県南地区

期 日 7月7日

会 場 美郷町中央ふれあい館

内 容 基礎講習

受講者 10人

期 日 7月14日～15日

会 場 美郷町中央ふれあい館

内 容 救急員養成講習

受講者 12人

イ 赤十字奉仕団委員長会議への参加

期 日 4月17日

会 場 秋田県社会福祉会館

参 加 者 委員長 田口 昇

ウ 総会の実施

期 日 4月20日
会 場 秋田県社会福祉会館
参 加 者 27人

エ 地区研修会

○県北地区

期 日 9月21日～23日
会 場 北秋田市民ふれあいプラザコムコム
内 容 救急法基礎・救急員養成講習の確認、振り返り
出 席 者 5人

期 日 11月2日～4日
会 場 能代ふれあいプラザ・サンピノ
内 容 救急法基礎・救急員養成講習の確認、振り返り
出 席 者 5人

○中央地区

期 日 12月7日
会 場 日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学
内 容 救急法救急員養成講習の実技確認
出 席 者 5人

○県南地区

期 日 7月7日・14日・15日
会 場 美郷町中央ふれあい館
内 容 救急法基礎・救急員養成講習の確認
出 席 者 7人

オ 赤十字キッズタウン2024への参加

赤十字運動月間イベントとして開催された支部のイベントに、運営スタッフとして団員が参加した。

期 日 5月26日
会 場 日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学
内 容 支部仕事体験コーナー
参 加 者 2人

カ 赤十字奉仕団リーダーシップ研修会への参加

日赤支部事業の赤十字奉仕団リーダーシップ研修会に団員を派遣し、奉仕団員としての知識と技術を学び各奉仕団との連携を確認した。

期 日 10月22日～23日
会 場 秋田温泉さとみ
参 加 者 1人

キ 役員会の実施

期 日 3月2日
会 場 日赤秋田県支部 研修室
参 加 者 13人

6) 災害救護奉仕団

防災ボランティアによって組織している災害救護奉仕団の活動内容は、次のとおりである。

ア 赤十字奉仕団リーダーシップ研修会への参加

日赤支部事業の赤十字奉仕団リーダーシップ研修会に団員を派遣し、奉仕団員としての知識と技術を学び各奉仕団との連携を確認した。

期 日 10月22日～23日
会 場 秋田温泉さとみ
参 加 者 2人

イ 赤十字キッズタウン2024への参加

赤十字運動月間イベントとして開催された支部のイベントに、運営スタッフとし

て団員が参加した。

期 日	5月26日
会 場	日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学
内 容	炊き出しコーナー・車両展示コーナー
参 加 者	4人

ウ 災害救護訓練への参加

期 日	9月1日
会 場	三種町八竜体育館
内 容	秋田県総合防災訓練会場にて、炊き出し訓練への参加
参 加 者	2人

期 日	10月4日
会 場	仙北市田沢湖生保内地区
内 容	仙北市防災訓練会場にて、炊き出し訓練への参加
参 加 者	1人

エ その他

- ・年間を通じ、災害の発生が懸念される状況において情報収集を実施した。
- ・年間を通じ、市内巡回パトロール活動を実施した。

7) 青少年赤十字賛助奉仕団

元青少年赤十字の指導者によって組織している青少年赤十字賛助奉仕団の活動内容は、次のとおりである。

- ・年間を通じ、青少年赤十字未加盟校に対する加盟促進・啓発活動を実施した。
- ・青少年赤十字指導者協議会との連携を強化した。

(4) 秋田県赤十字有功会

1) 設立年月日等

設立年月日	会 長	副 会 長	
昭和58年 1 月21日	三戸 俊彦	佐藤 安隆	鳥 トキエ

2) 会員数

個 人	法 人	計
126人	67社	193人・社

入会会員 6 人 退会会員 16人

3) 主な活動

ア 役員会

期 日 4 月24日
場 所 秋田県社会福祉会館 9 階第 4 会議室
出 席 者 8 人

イ 総会

期 日 6 月19日
場 所 ホテルメトロポリタン秋田
出 席 者 31人

ウ 公開講演会

期 日 6 月19日
場 所 ホテルメトロポリタン秋田
内 容 演題 「人生をどう完結するか、されているか」
講師 介護老人保健施設山盛苑 施設長 宮下正弘 氏
参 加 者 50人

エ 全国赤十字大会参会

期 日 5 月15日
場 所 明治神宮会館（東京都）
出 席 者 1 人

オ 秋田県支部事業への助成

- ・25万円を活動資金として寄付

カ 青少年赤十字活動の推進

青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター参加者へ記念品（赤十字マーク入りボールペン）を贈呈

（中学・高校生）

期 日 7月27日～28日

場 所 日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学 他

参 加 者 9人

（小学生）

期 日 9月14日

場 所 秋田県立大館少年自然の家

参 加 者 24人

キ 日赤紺綬・有功会会長協議会総会への参加

期 日 11月6日

場 所 ホテルメトロポリタン盛岡 ニューウイング（岩手県）

出 席 者 1人

ク 日本赤十字社福島県支部有功会連合会結成30周年記念行事への参加

期 日 11月26日

場 所 郡山ビューホテルアネックス（福島県）

出 席 者 3人

ケ 会報「有功秋田」の発行

第73号 令和6年9月発行

コ 新規会員勧誘

新たに有功章を受章された個人・法人へ入会案内

令和6年度 入会会員 6人（個人5人 法人1社）

サ 会員の慶弔

1 件

シ 記念事業等資金積立

5 万円を積み立て

9 青少年赤十字（J R C）

1 組 織

秋田県青少年赤十字指導者協議会

（加盟校で構成）

職 名	氏 名	勤 務 校 名	電話番号
会 長	佐 藤 進	秋田南高等学校	018-833-7431
副 会 長	加 藤 長 幸	早 口 小 学 校	0186-54-3033
同	佐 藤 学	川 尻 小 学 校	018-824-2374
同	鈴 木 和 彦	藤 木 小 学 校	0187-65-2420

秋田県青少年赤十字賛助奉仕団

（元青少年赤十字の指導者等で構成）

秋田県青少年赤十字指導者協議会理事会

（地区会長等で構成）

秋田県青少年赤十字地区指導者協議会

（地区加盟校で構成）

地 区 名	会 長 名	勤務校名	電話番号
鹿角・大館・北秋	加 藤 長 幸	早口小学校	0186-54-3033
能代・山本	近 藤 克 彦	湊城西小学校	0185-52-2237
男鹿・潟上・南秋	小 玉 和 彦	弘戸小学校	0185-46-2510
秋 田 市	佐 藤 学	川尻小学校	018-824-2374
由利本荘・にかほ	土 田 正 志	東由利中学校	0184-69-2410
大 仙 ・ 仙 北	鈴 木 和 彦	藤木小学校	0187-65-2420
横 手 市	西 村 直 崇	醍醐小学校	0182-25-4204
湯 沢 ・ 雄 勝	寺 田 玲 子	湯沢東小学校	0183-72-5125

秋田県青少年赤十字地区指導者協議会幹事会

（指導者協議会の幹事で構成）

2 登 録 状 況

（令和7年3月31日現在）

区 分	学 校 数	メ ン バ ー 数（人）
幼稚園・子ども園・保育園	4 9 園	3, 6 3 4
小 学 校	1 0 1 校	1 6, 1 9 9
中 学 校	5 2 校	8, 3 8 5
高 校 ・ 支 援 ・ 各 種	2 9 校	2, 6 7 4
計	2 3 1 校(園)	3 0, 8 9 2

3 青少年赤十字加盟校（園）一覧

（令和7年3月31日現在）

		園・校種								
		幼稚園	保育園（所）	認定こども園	小 学 校	中学校・義務教育	高校・専修	特別支援	合計	
地 域	鹿 角 大 館 北秋田		城南保		小 坂 沢内 鷹巣東 十和田 川 口 清 鷹 大 湯 花 岡 米内沢 城 南 南 城 西 早 口 有 浦 山 瀬	小 坂 東	大館桂桜 秋田北鷹	比内支援	21園・校	
	小計	0園 0人	1園 93人	0園 0人	15校 2,532人	2校 128人	2校 16人	1校 122人	2,691人	
	能 代 山 本			愛慈幼	淳城西 二ツ井 浜 口 淳城南 琴 丘 湖 北 第 四 森 岳 八 森 第 五 金 岡 峰 浜 向能代 浅 内	能代第一 能代第二 八 峰 藤 里 能代東 琴 丘 能代南 山 本 東 雲 八 竜 二ツ井	能代 能代松陽 能代科学技術	能代支援	30園・校	
	小計	0園 0人	0園 0人	1園 63人	14校 2,092人	11校 1,401人	3校 27人	1校 94人	3,677人	
	男 鹿 潟 上 南秋田			(認)追分幼	脇本第一 飯田川 八郎潟 船 越 天 王 大 潟 弘 戸 追 分 美 里	男鹿南 八郎潟 男鹿東 大 潟	秋田西		15園・校	
	小計	0園 0人	0園 0人	1園 108人	9校 1,466人	4校 557人	1校 17人	0校 0人	2,148人	
	秋 田	飯島幼 聖使幼	勝平保 こひつじ保 第一ルンビニ園 第二ルンビニ園 牛島ルンビニ園 わかこま第1 わかこま第2 ナーサリー小島の木	(認)こまどり幼 あきた中央こども園 サン・パティオこども園	川 尻 戸 島 清水 日 新 下新城 東	秋田南 秋南高等部	金足農業 秋田北 秋田工業 秋田令和 聖霊学園 秋田クラーク	視覚支援 秋田きり支援	30園・校	
	小計	2園 108人	8園 771人	3園 179人	6校 1,593人	3校 717人	6校 776人	2校 114人	4,258人	
	由 利 本 荘		本荘保		小 友 由 利 西 目	東由利		ゆり支援	6園・校	
	小計	0園 0人	1園 127人	0園 0人	3校 478人	1校 48人	0校 0人	1校 130人	783人	
	大 仙 仙 北		はなだて保 大曲東保 大曲南保 大曲北保 大曲乳児保 大川西根保 角間川保 藤木保 内小友保 中仙東保 みつば保 角館西保	(認)なかせんワイワイランド (認)せんぼくちびこらんど (認)おわたわんぱくランド (認)すくすくだけっこ園 (認)西仙おおぞらこども園 大曲駅前こども園 仙南すこやか園 六郷わくわく園 千畑なかよし園 四ツ屋こども園 大曲中央こども園	大 曲 西仙北 角 館 東大曲 清 水 白 岩 花 館 豊 成 生保内 内小友 中 仙 神 代 大川西根 協 和 西明寺 藤 木 太田東 桧木内 四ツ屋 太田南 六 郷 角間川 太田北 千 畑 神 岡 南 外 仙 南 高 梨 横 堀	大 曲 角 館 大曲西 生保内 大曲南 神 代 平 和 西明寺 西仙北 桧木内 中 仙 美 郷 協 和 南 外 仙 北 太 田	大曲農業 大曲農業太田分校 大曲工業 角館 秋田修英		73園・校	
	小計	0園 0人	12園 726人	11園 911人	29校 4,404人	16校 2,480人	5校 158人	0校 0人	8,679人	
	横 手		醍醐保 むつみ乳児保	(認)こひつじ むつみ幼保連携型 認定こども園 (認)土屋幼 (認)上宮第一幼 (認)上宮第二幼	横手南 増 田 大 森 朝 倉 浅 舞 十文字 旭 吉 田 山 内 栄 醍 醐 横手北 雄物川 大 雄	横手北 増 田 横手南 平 鹿 横手清陵学院 横手明峰 十文字	横手 横手城南 雄物川	横手支援	32園・校	
	小計	0園 0人	2園 98人	5園 292人	14校 2,153人	7校 1,911人	3校 1,080人	1校 39人	5,573人	
	湯 沢 雄 勝	双葉幼		湯沢よつばこども園	湯沢東 三 輪 西馬音内 湯沢西 雄 勝 羽後明成 山 田 皆 瀬 高 瀬 稲 川 三 輪	湯沢北 雄 勝 山 田 皆 瀬 湯沢南 羽 後 稲 川 東成瀬	湯沢 湯沢翔北	稲川支援	24園・校	
	小計	1園 86人	0園 0人	1園 72人	11校 1,681人	8校 1,143人	2校 21人	1校 80人	3,083人	
	合計	3園 194人	24園 1,815人	22園 1,625人	101校 16,199人	52校 8,385人	22校 2,095人	7校 579人	231園・校 30,892人	

4 会議・研修会等

(1) 指導者協議会理事会

(第1回)

期 日 5月14日

会 場 秋田県社会福祉会館 9階第3会議室

出席者 11人(会長・理事、支部職員)

(第2回)

期 日 11月26日

会 場 秋田県社会福祉会館 9階第3会議室

出席者 11人(会長・理事、支部職員)

(2) 指導者研修会

期 日 5月28日

会 場 秋田県社会福祉会館 9階第3会議室

出席者 16人(教職員・支部職員)

(3) 全国指導者協議会総会・研修会

期 日 7月12日

会 場 本社

参加者 1人(指導者協議会会長)

(4) 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター(中高生対象)

期 日 7月27日～28日

会 場 日本赤十字秋田看護大学・秋田短期大学・ほか

参加者 中高生9人、指導者9人

(5) 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター(小学生対象)

期 日 9月14日

会 場 秋田県立大館少年自然の家

参加者 小学生24人、指導者8人

(6) 青少年赤十字指導者中央講習会

期 日 11月4日

会 場 本社

参加者 1人(教頭)

(7) 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター指導者養成講習会

期 日 5月31日～6月2日
会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター
出席者 1人（校長）

(8) 第1ブロック青少年赤十字指導者研究会

期 日 11月21日～22日
会 場 日本赤十字社北海道支部
参加者 1人（校長）

(9) 青少年赤十字研究会（指導主事対象）

期 日 令和7年1月10日
会 場 本社
出席者 1人（県教育委員会指導主事）

5 青少年赤十字研究推進校

青少年赤十字研究推進校の委嘱

学 校 名	男鹿市立男鹿南中学校	横手市立増田小学校
委嘱年度	令和6～7年度	令和5～6年度
研 究 テ ー マ	男鹿の未来と自分の将来を考え行動する、活力のある生徒の育成 ～男鹿南中版ふるさとキャリア教育「男鹿南ぐろおがる」の取組を通して～	自分、仲間、横手が “だいすき！” 「未来に向けて挑戦する子どもの育成」

6 高校青少年赤十字協議会

(1) 高校協議会総会

期 日 7月7日
会 場 秋田県社会福祉会館 9階第3会議室
参加者 14人（高校生・指導者・支部職員）

(2) 海外たすけあい全県一斉街頭募金

期 日 12月14日
会 場 秋田駅東西連絡自由通路ぽぽろード
参加者 高校生19人、秋田市赤十字奉仕団ほか

(3) 青少年赤十字スタディー・センター

日 時 令和 7 年 3 月 22 日～26 日

会 場 山中湖村東照館

参 加 者 高校生 1 人

(4) 青少年赤十字幼児安全法講習会

日 時 9 月 28 日

会 場 秋田県社会福祉会館 9 階第 3 会議室

参 加 者 高校生 10 人、指導者等 3 人

(5) 秋田赤十字乳児院施設訪問研修

日 時 令和 7 年 3 月 24 日

会 場 秋田赤十字乳児院

参 加 者 高校生 19 人

7 機関誌の発行

「青少年赤十字秋田第 43 号」令和 7 年 3 月 31 日発行

10 広報・普及活動

1 印刷物の配布状況

社旨普及のため配布した印刷物は次のとおり

名 称	配布数（部）	配 布 先
赤 十 字 N E W S	26,400	各地区・分区、有功章会員、法人会員 奉仕団員、青少年赤十字加盟校 他
毎 戸 チ ラ シ	365,000	全世帯
会 員 募 集 の 手 引	12,000	各地区・分区の奉仕者
パンフレット（要覧）	29,000	各地区・分区の奉仕者
支部機関紙「赤十字秋田」	104,000	各地区・分区、有功章会員、法人会員 奉仕団員青少年赤十字加盟校、献血者 他

2 報道機関等を通じての広報

5月の赤十字運動月間を中心に、報道機関を通じて次の広報活動を行った。

- ・広告の掲載 8社の協力を得て「秋田魁新報」へ広告を掲載〔5/1朝刊〕
- ・テレビスポットの放映

局 名	広 報 内 容
秋 田 テ レ ビ (株)	5月に本社作成の運動月間用スポットを使用。
(株) 秋 田 放 送	
秋 田 朝 日 放 送 (株)	

3 イベントの実施

赤十字運動月間を中心に支部と施設等がタイアップし次のイベントを実施した。

レッドライトアッププロジェクト2024

場 所 ポートタワーセリオン

期 日 5月1日～5月15日

内 容 県民の皆さまに赤十字を知っていただくとともに「人道」への理解を深めていただくことを目的に、ランドマークとなる施設等に参加いただき、赤くライトアップした。

4 インターネットの活用

インターネットを活用し、ホームページ上で赤十字活動の周知に努めた。

ホームページアドレス等については次のとおり

【ホームページアドレス等】

ホームページアドレス	https://www.jrc.or.jp/chapter/akita/
代表メールアドレス	info@akita.jrc.or.jp
ホームページの内容	・行事紹介 ・事業紹介 ・赤十字講習の受付 ・赤十字の歴史 ・赤十字マークについて ・義援金（受付状況）等

【YouTube】

URL	https://www.youtube.com/channel/UCko3xsoA52A4SmO86QNf5Mg
動画の内容	・「教えて！病気や健康のこと！」 ・事業報告・決算 ・事業計画・予算 等
登録者数	428人（令和7年3月31日現在）

【X】（旧 Twitter）

URL	https://twitter.com/akita_redcross
投稿内容	日々の業務内容
登録者数	672人（令和7年3月31日現在）

【Instagram】

URL	https://www.instagram.com/nisseki_akita/
投稿内容	日々の業務内容
登録者数	507人（令和7年3月31日現在）

5 動画の制作（YouTube に掲載）

(1) がん検診のススメ

～「教えて！病気や健康のこと！」

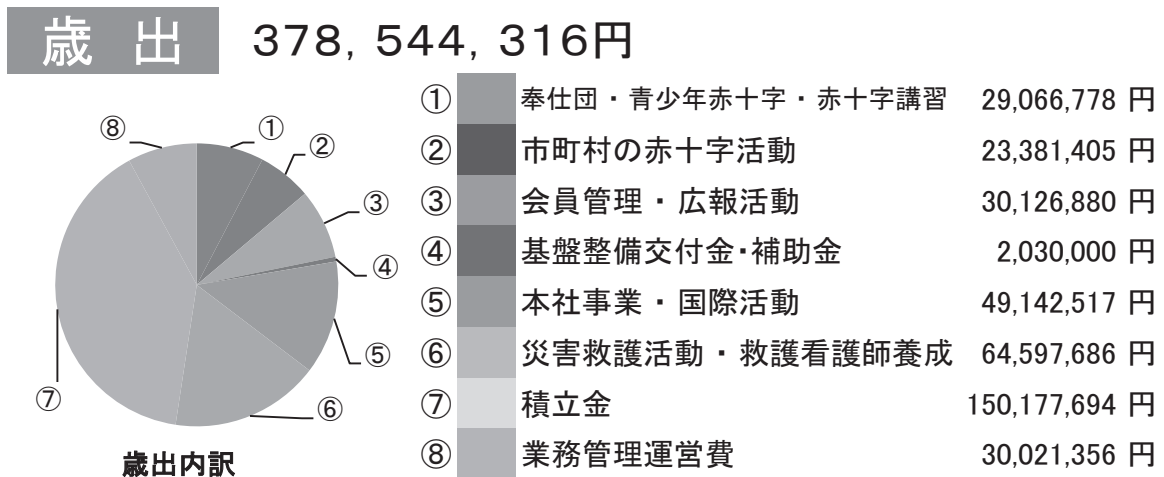
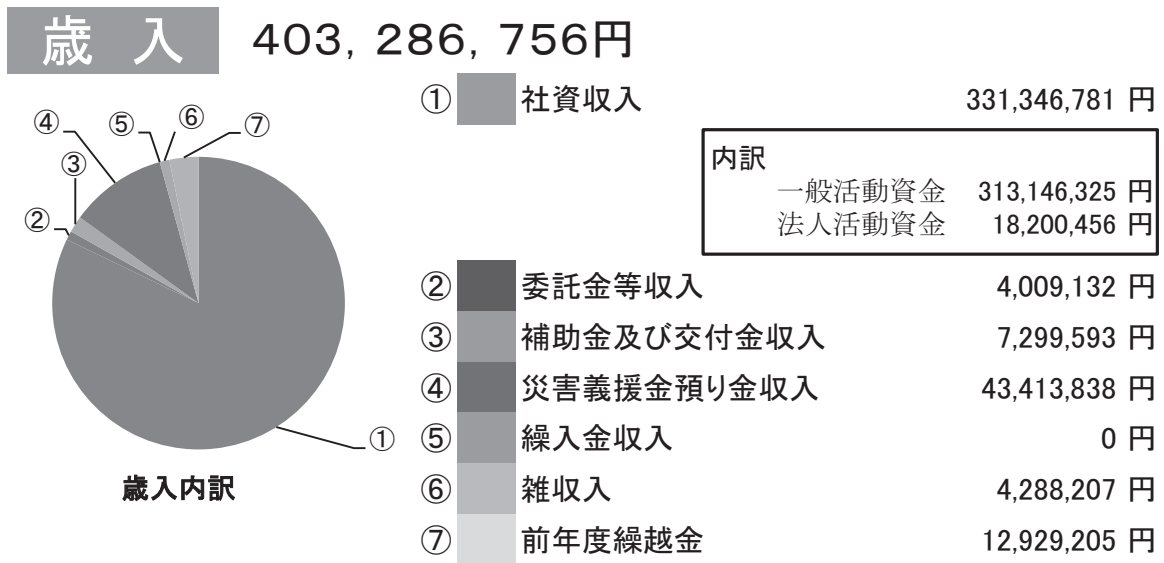
秋田赤十字病院の専門医が分かりやすく解説～

(2) 令和5年度 事業報告・決算

(3) 令和7年度 事業計画・予算

令和6年度秋田県支部 歳入歳出決算概要

歳入額	403,286,756円
歳出額	378,544,316円
収支残	24,742,440円



※令和6年度決算につきましては、令和6年7月の大雨災害による義援金として歳入「④災害義援金預り金収入」及び歳出「⑥災害救護活動・救護看護師養成」にそれぞれ43,413,838円が計上されております。

皆様の温かいご支援ご協力に感謝申し上げます。

上記義援金は全額、秋田県義援金配分委員会を通して被災された方々にお届けしております。

歳入－歳出＝24,742,440円は翌年度(令和7年度)当初の活動運営資金になります。

11 医 療 事 業

(秋田赤十字病院)

1. 概 要

令和6年度は、平成24年4月から12年間院長を務めてきた小棚木均に代わり、河合秀樹が第11代院長に就任した。

指針は「秋田県の中核病院として、高度で安全な医療の提供に努めるとともに、赤十字の使命である災害医療救護にも積極的に取り組み、地域との厚い信頼を築く」とし、具体的施策には、1) 質の高い医療の提供、2) 災害医療救護体制の充実、3) 病院経営の健全化、4) 地域医療への貢献、を掲げた。

令和6年6月の診療報酬改定の影響もあり、急性期医療体制を維持するために一部病床を再編するなど大きな変化があった1年であった。

上記各施策の評価としては、

1) 安心で安全な、質の高い医療が提供されたと考えられる。ドクターヘリ事業は、要請件数469件に対して出動件数283件・未出動件数186件と、前年度と比較し要請件数、出動件数ともに減少したが、平年並みの件数であった。未出動は天候不良によるものが最も多い。

2) 災害医療救護は、秋田県・支部の要請を受け、令和6年7月の東北地方大雨災害に対し日赤災害医療コーディネートチーム3班、こころのケア班の延べ12名を派遣した。また、令和7年3月の岩手県大船渡市林野火災に対し、支部の要請を受け、こころのケア班3名を派遣した。それぞれが被災者に寄り添った十分な活動を行った。

3) 外来患者数は前年度より減少したものの、入院患者数は増加した。収支は、退職給付引当金の戻入れが12億9千万円あった影響で、医業収支、経常収支、病院収支とも決算書上は黒字であったが、キャッシュフロー上は大幅な赤字決算となっており、依然として病院経営は厳しい状況が続いている。

4) 病院機能としては、高度急性期・急性期の医療を実践している。また、地域医療支援病院として、医療機関相互の適切な機能分担及び機能連携を図るため、状態の安定した患者は積極的に地域の医療機関に逆紹介している。令和6年度は前年比271人増の6,325人の紹介を受け（紹介率70.4%）、その後に逆紹介した（逆紹介率115.0%）。

2. 医療活動

医師数は130名を超えるが診療科による偏在があり、県内外から応援を得て医療活動がなされた。一方、医師が充足している診療科では、県内医療機関から要請があれば応じるようにしており、令和6年度は22箇所の医療機関へ医師を派遣した。

許可病床数は480床で、一般医療が344床、県の委託を受けて運営する政策医療が136床（救命救急50床、周産期56床、神経病30床）である。標榜科は31科。なお、病床数については、令和6年度診療報酬改定などの影響による見直しや従来からの休床分等をあわせて令和7年3月31日をもって一般医療から33床の削減を行った。これにより許可病床数は447床となった。

病院附属の健診施設として秋田市中通地区にあきた健康管理センターがあるが、令和7年3月末をもって休止となっている。平成20年5月から17年間運営を行ってきたが、施設設備ならびに医療機器等の老朽化により多額の設備投資が必要となったこと、医師・看護師等の確保が難しくなっていること、また、県内の人口減により受診者数の減少が見込まれることなどから休止の判断となったものである。今後は、本院の健康増進センターへ健診部門を集約することで対応することとした。

令和6年度の入院患者数は延べ136,307人と前年度に比べて186人増加した。一日平均入院患者数は前年度の371.9人から373.4人になった。病床利用率は、85.1%（前年度比0.4pt増）だった。平均在院日数は12.6日と0.7日短縮した。外来患者数は延べ174,061人で前年度より6,161人減少した。患者の地域別割合では、前年同様秋田市が外来、入院とも約4分の3を占めており、その他の地域も前年度と変わりなかった。

救急患者数は16,285人で前年度より677人減少、救急からの入院は前年度より44人増加した。救急車による搬送数は前年度の3,423件から3,582件と159件増加した。

分娩数は年々減少傾向にあり、令和6年度も543件と前年度より8件減少した。

手術室で行われた手術件数は3,299件で前年度より31件増加し、全身麻酔手術数は2,220件で121件増加した。全身麻酔下による緊急手術も356件実施された。これにより高度専門的医療・急性期医療の提供体制を十分に確保している医療機関を評価した診療報酬施設基準の「急性期充実体制加算2」を令和7年4月1日付で取得できた。今後も緊急手術実施体制を維持・強化していくため不足している麻酔科医の確保が喫緊の課題である。

人間ドックなどの健診事業については、本院では8,689人、あきた健康管理センターでは10,475人、併せて19,164人（前年度比67人減）の健診を行った。

診療収益は、入院が101億3千万円（前年度比2億9千万円の増）、外来が39億1千万円（前年度比9千万円の減）だった。診療単価は、入院74,337円、外来22,447円だった。病院収支としては、収入が160億2千万円（前年度比1億9千万円の増）、支出が151億7千万円（前年度比11億5千万円の減）で、8億5千万円の黒字となったものの、退職給付引当金戻入の影響を除くとキャッシュフロー上は大幅な赤字決算であり実質的には赤字の状況であった。

令和7年度も物価高騰等の影響を受け、病院を取り巻く環境は厳しい状態が続くことが予想されるが、医療の安定的な提供を行うため病院経営の健全化に取り組んでまいりたい。

3. 令和6年度実績

(1) 科別患者延数

(単位：人)

	総合診療	腎臓内科	代謝内科	血液内科	神経内科	呼吸器内科
入院	1,456	2,418	3,117	9,413	12,354	9,878
外来	3,781	12,552	10,166	5,772	7,894	9,950

	肝胆膵	消化管	循環器内科	腫瘍内科	精神科	小児科
入院	7,727	5,395	8,068	2,005	0	2,084
外来	5,674	9,532	6,898	1,591	8,352	5,426

	新生児科	消化器外科	乳腺外科	呼吸器外科	心臓血管外科	小児外科
入院	5,340	13,883	1,995	2,673	22	38
外来	329	10,431	7,100	2,175	461	275

	整形外科	形成外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	産科
入院	21,727	1,663	4,950	777	4,998	7,349
外来	13,944	4,926	2,691	8,616	11,337	5,433

	婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	救急科	全科合計
入院	2,382	0	970	0	3,625	136,307
外来	6,099	3,189	7,125	1,073	1,269	174,061

(2) 救命救急センター患者取扱状況

(単位：人)

	救急患者	来院方法			来院時間		
		救急車	へり	その他	時間内	時間外	深夜(再掲)
交通事故	301	179	13	109	94	207	19
急病	13,189	2,778	41	10,370	3,792	9,397	1,689
その他	2,795	625	17	2,153	822	1,973	248
計	16,285	3,582	71	12,632	4,708	11,577	1,956

	患者の状況				
	帰宅	一般外来	入院	転送	死亡
交通事故	255	0	43	2	1
急病	9,929	8	3,129	28	95
その他	2,289	1	494	2	9
計	12,473	9	3,666	32	105

(3) 分娩、手術関係

	件数	備考
分娩	543	
出生	568	
手術	3,299	手術室におけるもの
死亡	530	外来死亡105件含む
剖検	9	剖検率 2.1%

(4) 健診部の活動、その他

	外来ドック	入院ドック	健康診断	生活習慣病	特定健診	婦人科検診	その他健診等
件数	5,216	1,203	203	1,727	3	175	162

	特定保健指導	ストレスドック	フォローアップ健診	各種教室等	その他
件数	230	21	0	0	8

	乳児健診	予防接種	母親学級	栄養相談	救護
件数	655	184	442	1,993	6

(5) 地域別実患者数

全患者内訳

地域別	外来		入院		合計
	実患者数	比率	実患者数	比率	
秋田市	25,085	75.16%	5,478	74.64%	30,563
鹿角市・郡	38	0.11%	12	0.16%	50
大館・北秋	459	1.38%	86	1.17%	545
能代・山本	523	1.57%	115	1.57%	638
男鹿・南秋	1,869	5.60%	421	5.74%	2,290
由利本荘・にかほ	1,075	3.22%	213	2.90%	1,288
大曲・仙北	3,230	9.68%	687	9.36%	3,917
横手・平鹿	349	1.05%	85	1.16%	434
湯沢・雄勝	214	0.64%	52	0.71%	266
県外	532	1.59%	190	2.59%	722
総合計	33,374	100.00%	7,339	100.00%	40,713

秋田市内訳

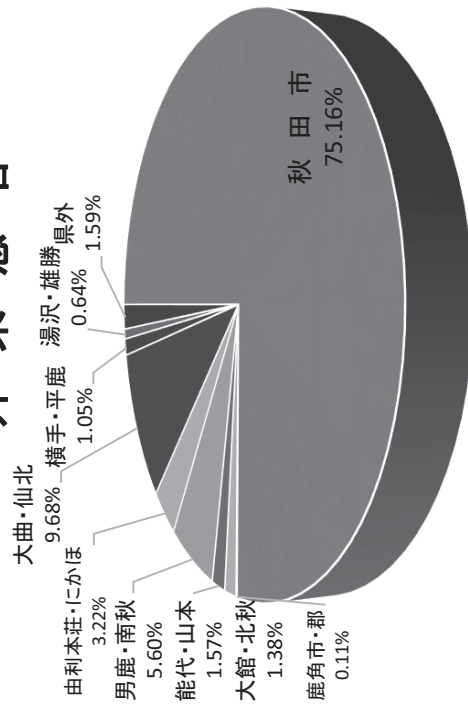
地域別	外来		入院		合計
	実患者数	比率	実患者数	比率	
中央地区	3,395	13.53%	710	12.96%	4,105
東部地区	6,162	24.56%	1,315	24.01%	7,477
西部地区	2,136	8.52%	483	8.82%	2,619
南部地区	8,550	34.08%	1,746	31.87%	10,296
北部地区	1,962	7.82%	467	8.53%	2,429
河辺・雄和	2,880	11.48%	757	13.82%	3,637
秋田市合計	25,085	100.00%	5,478	100.00%	30,563

(6) 附属あきた健康管理センターの活動

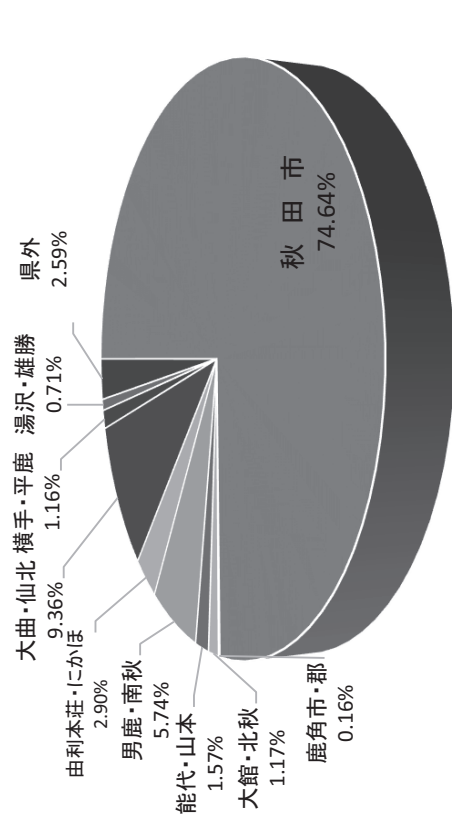
	外来ドック	健康診断	生活習慣病	特定健診	婦人科検診	その他健診
件数	2,665	1,410	5,936	296	168	0

全患者内訳

外来患者

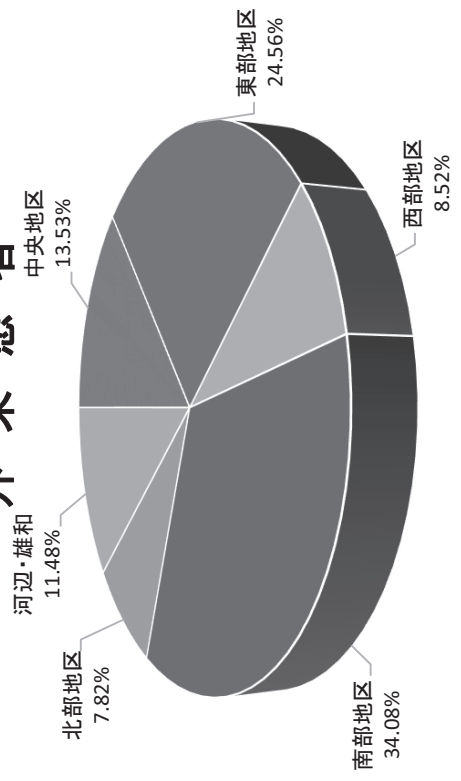


入院患者

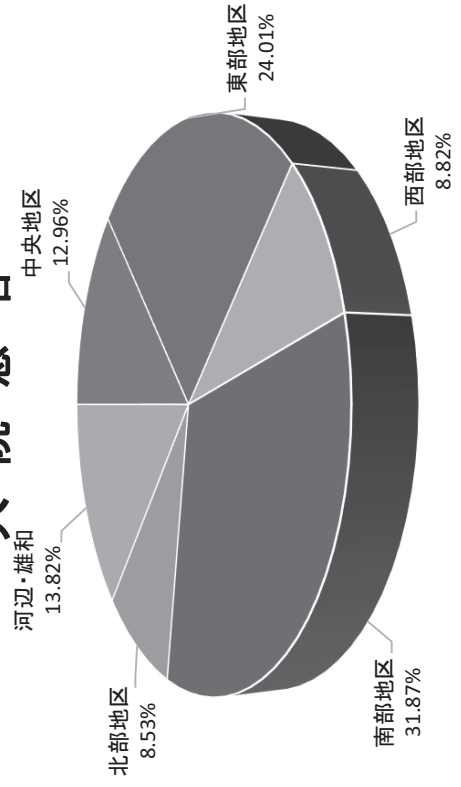


秋田市内訳

外来患者



入院患者



12 血 液 事 業

(秋田県赤十字血液センター)

1 概 要

秋田県では、「安全な血液製剤の安定供給の確保等による法律」に基づき、「秋田県血液事業 推進計画」を定め、血液製剤の安全性の確保及び適正使用の推進に努めた。医療機関に対しては、血液製剤を安定的に供給するため、医療需要に基づく必要血液量を過不足なく確保することが大切であることから、400mL 献血、成分献血を中心として計画的かつ効率的な確保に向けた事業の推進を行った。

(1) 献血推進と実績について

- ア 令和 6 年度の献血実績は、200mL 献血691人、400mL 献血23,526人、成分献血12,207人、合計36,424人となり、事業計画を1,157人（計画比103.2%）上回った。
- イ 令和 6 年度は、夏場の猛暑の影響や冬場の各種感染症の影響により、体調を考慮し献血を控える方が多く献血者確保に苦慮した。この時期は、特に献血者確保対策が求められ、県、市町村と連携を図りながら献血者の確保に努めた。
- ウ デジタル化が進展している社会情勢に鑑み、令和 4 年 9 月に導入された「ラブラッドアプリ」は、デジタルを活用したアプリ予約や血液検査結果の確認などサービスの提供を行っている。日本赤十字社では、更なる利用促進のため、献血手帳と献血カードの新規発行及び更新については、令和 8 年 1 月 4 日をもって終了することとし、より多くの献血者へ利用していただくため引き続き「ラブラッドアプリ」への登録を推進した。

(2) 輸血用血液製剤の供給について

- ア 県内医療機関への血液製剤の供給は、赤血球製剤50,218単位、血漿製剤12,829単位、血小板製剤67,200単位、合計130,247単位となり前年度より185単位減少した。赤血球製剤のみ減少していた。大館鹿角地域の医療機関には、広域事業運営体制により青森県赤十字 血液センター弘前出張所から血液製剤を供給しており、内訳としては赤血球製剤3,879単位、血漿製剤269単位、血小板製剤4,435単位、合計8,583単位となる。
- イ 前年まで Web 受注率や定時配送率について全国の供給部門全体で取り組んでいたが、ひとまず目標を達成したため、令和 6 年度は大きな取り組み項目はなく、安全運転等の強化に取り組んでいた。
- ウ 医療機関向けの会議として10月に輸血管理実務担当者会議を開催した。前年と同じで25施設から参加があった。

2 令和 6 年度実績

(1) 令和 6 年度 献血方法別目標及び実績

(単位：人)

区 分	目 標	実 績	過 不 足	達 成 率
200 mL 献 血	561	691	130	123.2%
400 mL 献 血	23,305	23,526	221	100.9%
成 分 献 血	11,401	12,207	806	107.1%
合 計	35,267	36,424	1,157	103.3%
献 血 量 (L)	15,819.0	17,033.9	1,214.9	107.7%

(2) 令和 6 年度 献血方法別実績前年度比較

(単位：人)

区 分	令和 6 年度実績	令和 5 年度実績	増 減	前 年 度 比
200 mL 献 血	691	622	69	111.1%
400 mL 献 血	23,526	23,870	△ 344	98.6%
成 分 献 血	12,207	12,648	△ 441	96.5%
合 計	36,424	37,140	△ 716	98.1%
献 血 量 (L)	17,033.9	17,336.2	△302.3	98.3%

(3) 月別・性別献血状況、献血できなかった人数の内訳

(単位：人)

区分		月												合 計	比 率
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月		
申 込 者 数	総 数	3,338	3,416	3,421	3,350	3,328	3,252	3,514	3,307	3,537	3,450	2,997	3,358	40,268	100.0%
	男	2,262	2,382	2,397	2,258	2,314	2,246	2,351	2,276	2,408	2,431	2,091	2,341	27,757	68.9%
	女	1,076	1,034	1,024	1,092	1,014	1,006	1,163	1,031	1,129	1,019	906	1,017	12,511	31.1%
献 血 者 数	総 数	3,038	3,139	3,097	3,013	2,962	2,937	3,148	2,990	3,209	3,117	2,722	3,052	36,424	90.5%
	男	2,155	2,286	2,263	2,152	2,191	2,138	2,225	2,154	2,282	2,292	1,975	2,215	26,328	65.4%
	女	883	853	834	861	771	799	923	836	927	825	747	837	10,096	25.1%
か 献 血 だ け 人 数 な	総 数	300	277	324	337	366	315	366	317	328	333	275	306	3,844	9.5%
	男	107	96	134	106	123	108	126	122	126	139	116	126	1,429	3.5%
	女	193	181	190	231	243	207	240	195	202	194	159	180	2,415	6.0%
内	総 数	139	138	179	206	259	187	209	168	177	181	149	153	2,145	55.8%
	男	28	23	57	43	65	45	49	44	42	45	39	42	522	13.6%
	女	111	115	122	163	194	142	160	124	135	136	110	111	1,623	42.2%
そ の 他	総 数	161	139	145	131	107	128	157	149	151	152	126	153	1,699	44.2%
	男	79	73	77	63	58	63	77	78	84	94	77	84	907	23.6%
	女	82	66	68	68	49	65	80	71	67	58	49	69	792	20.6%

(注) 申込者数は献血者数・献血できなかった人数の合計である。
 献血者数・献血できなかった人数の割合は、申込者総数に対する比率である。また、男女の割合は、申込者総数に対する比率である。
 内訳の割合は献血できなかった人数の総数に対する比率である。

(4) 保健所別献血者状況

(単位：人)

項目	合 計			全 血 献 血				成 分 献 血				献 血 量 (L)		
	目 標 数	申込者数	目 標 率 達成率	目 標 数	申込者数	献 血 者 数	目 標 率 達成率	目 標 数	申込者数	献 血 者数	目 標 率 達成率	目 標 数	献 血 量	目 標 率 達成率
保健所						献 血 者 数								
						200mL 献 血	400mL 献 血							
大 館 保 健 所	2,488	2,855	104.3%	2,488	2,855	90	2,506	2,596	104.3%			983.6	1,020.4	103.7%
北 秋 田 保 健 所	772	880	103.4%	772	880	26	772	798	103.4%			305.2	314.0	102.9%
能 代 保 健 所	1,587	1,723	97.3%	1,587	1,723	31	1,513	1,544	97.3%			627.4	611.4	97.4%
秋田中央保健所	1,072	1,153	98.0%	1,072	1,153	9	1,042	1,051	98.0%			423.8	418.6	98.8%
由利本荘保健所	1,889	2,073	96.8%	1,889	2,073	14	1,815	1,829	96.8%			746.6	728.8	97.6%
大 仙 保 健 所	2,488	2,830	102.3%	2,488	2,830	14	2,532	2,546	102.3%			983.6	1,015.6	103.3%
横 手 保 健 所	2,103	2,301	97.1%	2,103	2,301	36	2,007	2,043	97.1%			831.2	810.0	97.4%
湯 沢 保 健 所	1,416	1,643	104.7%	1,416	1,643	76	1,406	1,482	104.7%			559.8	577.6	103.2%
秋 田 市 保 健 所*	21,452	24,810	105.0%	10,051	11,399	395	9,933	10,328	102.8%	13,411	12,207	10,357.8	11,537.5	111.4%
合 計	35,267	40,268	103.3%	23,866	26,857	691	23,526	24,217	101.5%	13,411	12,207	15,819.0	17,033.9	107.7%

※秋田市保健所には、固定施設の献血パーク るう及びアトリオン献血ルームを含む。

(5) 年齢別・性別献血状況

(単位：人)

	献 血 者 数			男			女			性 比 率					
	200mL 献 血	400mL 献 血	成 分 献 血	計	比 率	200mL 献 血	400mL 献 血	成 分 献 血	計	比 率	200mL 献 血	400mL 献 血	成 分 献 血	計	比 率
16 ～ 19歳	553	760	92	1,405	3.9%	102	485	29	616	2.3%	451	275	63	789	7.8%
20 ～ 29歳	124	3,378	986	4,488	12.3%	5	2,386	668	3,059	11.6%	119	992	318	1,429	14.2%
30 ～ 39歳	5	3,813	1,568	5,386	14.8%	0	2,694	1,126	3,820	14.5%	5	1,119	442	1,566	15.5%
40 ～ 49歳	3	5,517	2,926	8,446	23.2%	0	4,004	2,234	6,238	23.7%	3	1,513	692	2,208	21.9%
50 ～ 59歳	6	6,755	4,344	11,105	30.5%	0	4,916	3,344	8,260	31.4%	6	1,839	1,000	2,845	28.2%
60 ～ 69歳	0	3,303	2,291	5,594	15.4%	0	2,470	1,865	4,335	16.5%	0	833	426	1,259	12.5%
計	691	23,526	12,207	36,424	100.0%	107	16,955	9,266	26,328	100.0%	584	6,571	2,941	10,096	100.0%

(6) 職業別・性別献血状況

(単位：人)

	献 血 者 数			男			女			性 比 率					
	200mL 献 血	400mL 献 血	成 分 献 血	計	比 率	200mL 献 血	400mL 献 血	成 分 献 血	計	比 率	200mL 献 血	400mL 献 血	成 分 献 血	計	比 率
公 務 員	22	5,233	2,161	7,416	20.4%	2	4,340	1,994	6,336	24.1%	20	893	167	1,080	10.7%
会 社 員	42	12,625	6,400	19,067	52.3%	1	9,550	5,123	14,674	55.7%	41	3,075	1,277	4,393	43.5%
高 校 生	449	222	24	695	1.9%	93	159	5	257	1.0%	356	63	19	438	4.3%
大 学 生	98	647	316	1,061	2.9%	6	374	225	605	2.3%	92	273	91	456	4.5%
そ の 他	80	4,799	3,306	8,185	22.5%	5	2,532	1,919	4,456	16.9%	75	2,267	1,387	3,729	36.9%
計	691	23,526	12,207	36,424	100.0%	107	16,955	9,266	26,328	100.0%	584	6,571	2,941	10,096	100.0%

(7) 年度別輸血用血液製剤供給状況（県内）

ア 令和 6 年度 供給計画及び実績

（単位：本）

区 分	計 画	実 績	差 異	計画実績比
全 血 製 剤	0	0	0	0.0%
赤 血 球 製 剤	50,968	50,218	△ 750	98.5%
血 漿 製 剤	12,280	12,829	549	104.5%
血 小 板 製 剤	70,910	67,200	△ 3,710	94.8%
合 計	134,158	130,247	△ 3,911	97.1%

（注）数値は200mL 換算数である。

イ 令和 6 年度 供給実績前年度比較

（単位：本）

区 分	令和 6 年度実績	令和 5 年度実績	増 減	前年度比
全 血 製 剤	0	0	0	0.0%
赤 血 球 製 剤	50,218	50,786	△ 568	98.9%
血 漿 製 剤	12,829	13,401	△ 572	95.7%
血 小 板 製 剤	67,200	66,245	955	101.4%
合 計	130,247	130,432	△ 185	99.9%

（注）数値は200mL 換算数である。

13. 乳児院の運営

(秋田赤十字乳児院)

1. 概要

様々な事情により家庭で育てることが出来ない、0歳からの乳幼児をお預かりし、24時間体制で養育をしている児童福祉施設である。

夜間等の緊急時における一時保護機能も有している。

主な入所理由は、ここ数年の傾向として虐待を受けた子どもたちの入所が多くなっており、全体の半数以上を被虐待児が占めている。他の入所理由としては、未婚や父母の病気等によるものとなっている。

すべての子どもたちは家庭的な環境のもと養育されることが心身の発達にとって重要であり、令和6年度に退所した措置児童9名のうち、家庭復帰となった子どもは3名、里親家庭へ3名の子どもが委託された。

保護者の病気等により実親の元へ帰ることが出来ない子どもたちのために、里親制度の推進事業に力を注いでいる。令和2年度から秋田県より受託しているフォostリング機関（里親養育包括支援）では、里親制度普及促進事業として里親制度を広く知っていただくため、秋田公立美術大学と共同でポスター展を県内各地（48箇所853日間（延べ日数））で開催した。

里親トレーニング事業は延べ49名の里親を対象に実施し、里親支援専門相談員を中心に入所児童の里親委託を推進し、アフターケアとして家庭訪問やSNSを用いて継続的な支援を行っている。令和6年度の新規里親登録数は18世帯26名であった。

地域に必要とされる施設を目指し、子育て支援事業の充実をはじめ、中・高生等の体験学習、看護大生・保育士・栄養士等の実習生やボランティア等の受け入れも当院の特色と捉え推進している。

コロナ禍で活動を中止していた子育て支援事業（ショートステイ、デイケア、プレママサロン、育児サークル）を順次再開し、地域の子育て支援の一役を担っている。

国の推進する家庭的養育の推進を図るため、令和5年度にばんび室を、令和6年度にはばんだ室を改修し、風呂、トイレ、キッチン、玄関を設置して家庭的な養育環境を整備した。

2. 利用状況

(令和7年3月31日現在)

(1) 入退所の状況

(単位：人)

入所人数				退所先及び退所人数				年度末 在所人数 (A-B)
区分	前年度からの 入所数	新規入所数	計(A)	家庭	里親	施設 (当院を含む)	計(B)	
措置	17	11	28	3	3	3	9	19
一時保護	2	10	12	7	0	3	10	2
計	19	21	40	10	3	6	19	21

(注) 一時保護から当院に措置となった児童数は7名である。但し、この人数は一時保護に含まない。

(2) 新規入所理由の状況

(単位：人)

区分	虐待	父母の疾病	未婚	その他	計
措置	5	3	3	0	11
一時保護	6	2	1	1	10
計	11	5	4	1	21

(注) 「その他」の内容：次子出産

(3) 市町別在所在状況

(単位：人)

秋田市	能代市	横手市	男鹿市	鹿角市	由利本荘市	大仙市	仙北市	計
12	1	1	1	2	1	2	1	21

3. 過去5年間の利用状況

(単位：人)

内 訳 \ 年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
前年度からの入所	25	18	18	21	19
入 所	27	24	24	28	21
退 所	34	23	21	28	19
年 度 末 人 数	18	19	21	21	21

(註) 一時保護児童数を含むが、その内一時保護から当院に措置となった児童数は含まない。

4. 子育て支援事業

事 業 名	利 用 状 況 等
電 話 相 談 8:30 - 23:00	20件 内容：基本的生活習慣・発育発達・医学的問題・生活の環境・育児の方法
シ ョ ー ト ス テ イ	2人延べ11日
デ イ ケ ア	1人
プ レ マ マ サ ロ ン	25組48人
育児サークル「愛あいクラブ」	11組22人

5. 主な年間行事

行 事 名	期 日	場 所	対 象 児
お 花 見	4月23日	広 面 近 隣 公 園	乳児以外全員
こどもの日	5月2日	院 内	全 員
運 動 会	6月29日	院 庭	全 員
七夕の集い	7月5日	院 内	全 員
院 外 保 育	9月5日	ザ ・ ブ ー ン	8 人
町内会納涼祭	9月7日	町 内 会	13 人
お 月 見	9月17日	院 内	全 員
院 外 保 育	10月8日	秋 田 駅	5 人
院 外 保 育	10月17日	大 森 山 動 物 園	4 人
院 外 保 育	10月24日	大 森 山 動 物 園	5 人
ハロウィン	10月29日	院 内	全 員
七五三撮影会	11月5日	院 内	6 人
院 外 保 育	11月15日	大 森 山 動 物 園	5 人
七五三お宮参り	11月18日	三 吉 神 社	2 人
クリスマス会	12月25日	院 内	全 員
お 正 月	1月1日	院 内	全 員
節 分	2月3日	院 内	全 員
ひ な 祭 り	3月1日	院 内	全 員

6. ボランティアの受入れ

種 別	受 入 れ 状 況
個 人	8人 99回
団 体	11団体 (延人数244人)

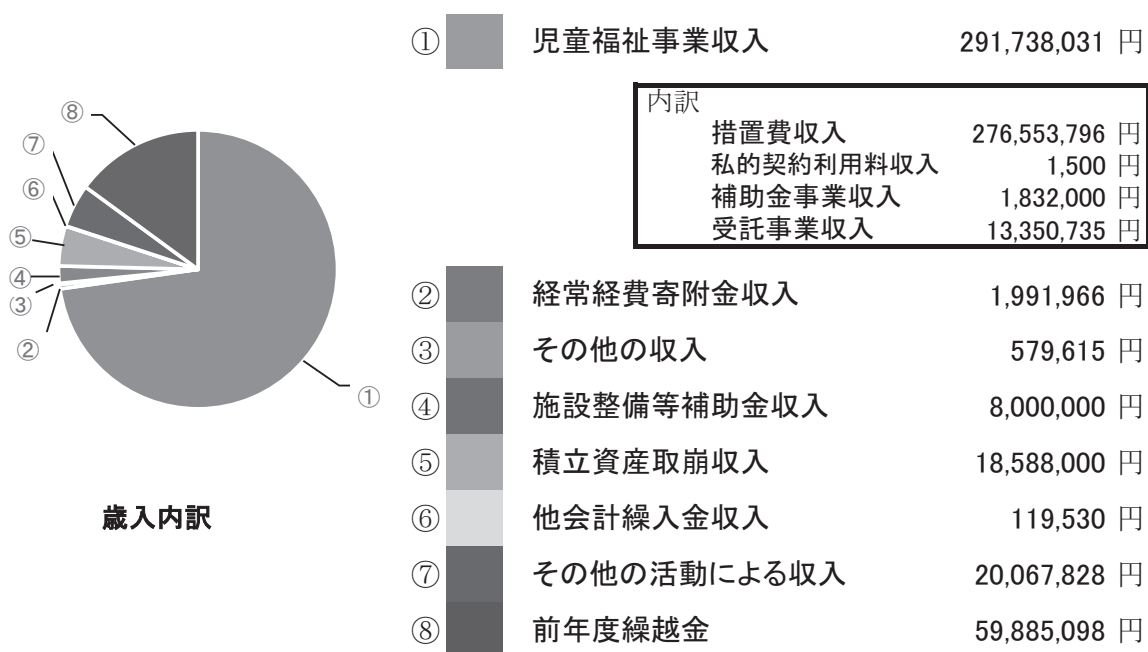
7. 幼児安全法講習会の開催

開催日	受講者数(人)	対 象
4月2日	2	職 員
6月23日	20	一 般
11月3日	13	一 般
11月30日	3	一 般
合 計	38	

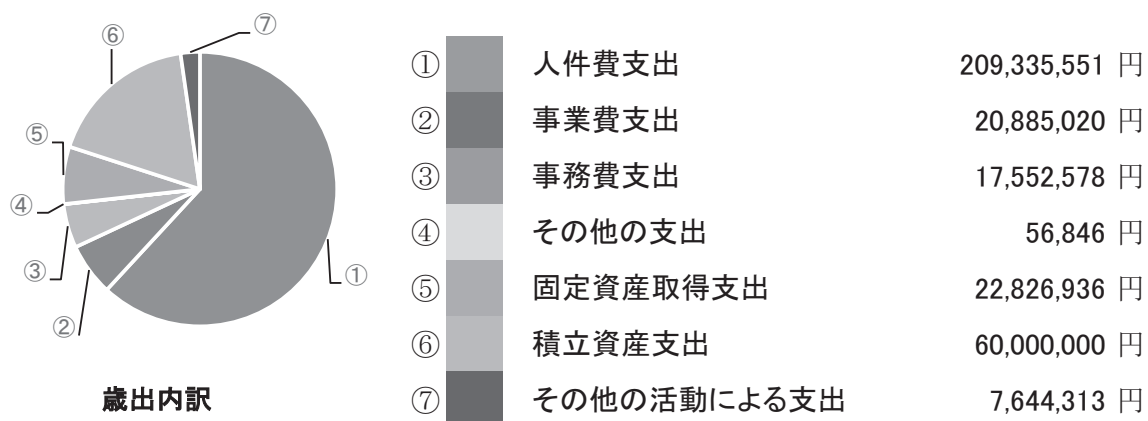
令和6年度秋田赤十字乳児院 歳入歳出決算概要

歳入額	400,970,068円
歳出額	338,301,244円
収支残	62,668,824円

歳入 400,970,068円



歳出 338,301,244円



14 日本赤十字社秋田県支部現勢

(令和7年3月31日現在)

1 沿革

明治20年（1887）11月3日…日本赤十字社
秋田県委員部設立
明治29年（1896）7月1日…日本赤十字社
秋田支部に改称
昭和27年（1952）10月31日…日本赤十字社
秋田県支部に改称

2 会員数（含：協力会員） 個人 140,252人
法人 565社

3 評議員 29人

4 役員

支部長 佐竹 敬久
副支部長 神部 秀行・穂積 志
本社理事 野口 良孝
本社代議員 江畑 佳明・堀井 啓一
黒崎 義雄・齊藤 正子
支部監査委員 芦田 晃輔・伊藤 新

5 青少年赤十字

区 分	加盟登録数	メンバー数
幼保こども園	49 園	3,634人
小 学 校	101 校	16,199人
中 学 校	52 校	8,385人
高 等 学 校 等	22 校	2,095人
特別支援学校	7 校	579人
計	231園（校）	30,892人

6 赤十字奉仕団

区 分	団 数	団員数
地 域	53団	10,943人
青年（学生）	5団	62人
特 殊	7団	255人
計	65団	11,260人

7 秋田県赤十字有功会員 個人 126人
法人 67社

8 講習等普及活動

区 分	講習回数	受講者数	指導員数
防災セミナー	65回	3,316人	61人
救 急 法	166回	5,253人	70人
健康生活支援	54回	1,913人	29人
水上安全法	45回	1,426人	23人
幼児安全法	33回	505人	30人
雪上安全法	1回	23人	1人
計	364回	12,436人	214人

9 国際活動

- ・第一ブロック支部共同事業（資金援助）
- ・NHK海外たすけあいキャンペーン 他

10 災害救護

災害対策本部要員	34人	
救護班要員	9 班	74人
血液供給要員	2 人	
無線局（基地局含）	150MHz	33局
	400MHz	24局
救護車両	6 台	
備蓄救援物資	毛 布	1,650枚
	タオルケット	2,196枚
	緊急セット	1,078個
	安眠セット	641個

11 医療事業（秋田赤十字病院）

内 訳	総 病 床 数	447床
	一般医療	311床
	救命救急医療	50床
	周産期医療	56床
	神経病医療	30床
入 院	136,307人	
	1 日平均	373.4人
外 来	174,061人	
	1 日平均	719.3人

12 血液事業（秋田県赤十字血液センター）

献血ルーム	2 施設（血液センター、アトリオン献血ルーム）
移動採血車	3 台
献血者数（延人数）	供給本数（200mL 献血由来換算）
200mL献血 691人	赤血球製剤 50,218本
400mL献血 23,526人	血漿製剤 12,829本
成分献血 12,207人	血小板製剤 67,200本
計 36,424人	計 130,247本

13 社会福祉施設（秋田赤十字乳児院）

定 員	24人
年度末在所児童数	21人

14 職員数（嘱託・臨時職員等は除く、令和7年4月1日現在）

日本赤十字社秋田県支部	8人
秋田赤十字病院	778人
秋田県赤十字血液センター	44人
秋田赤十字乳児院	21人
計	851人

15 会計（令和7年度当初予算）

支 部	189,346千円	
病 院	収益の収入	16,367,431千円
	収益の支出	16,952,208千円
乳 児 院	歳 入	374,286千円
	歳 出	305,703千円

日本赤十字社秋田県支部

〒010-0922 秋田市旭北栄町1番5号
TEL 018 (864) 2731 FAX 018 (864) 6852
URL <https://www.jrc.or.jp/chapter/akita/>
E-mail info@akita.jrc.or.jp

秋田県赤十字血液センター

献血パークるうぷ

〒010-0941 秋田市川尻町字大川反233番186号
TEL 018 (865) 5541 FAX 018 (865) 5585
URL <https://www.bs.jrc.or.jp/th/akita/>

秋田赤十字病院

〒010-1495 秋田市上北手猿田字苗代沢222-1
TEL 018 (829) 5000 FAX 018 (829) 5255
URL <http://www.akita-med.jrc.or.jp/>

アトリオン献血ルーム

〒010-0001 秋田市中通二丁目3番8号
(アトリオン1階)
TEL 018 (836) 7811 FAX 018 (836) 7812

秋田赤十字乳児院

〒010-0041 秋田市広面字釣瓶町100番地3
TEL 018 (884) 1760 FAX 018 (884) 1762
URL <http://www.akita-nyuji.jrc.or.jp/>
E-mail info@akita-nyuji.jrc.or.jp

<案 内 図>

